オムロン無停電電源装置(UPS)専用ソフトウェア

PowerAct Pro Master Agent Windows Server 2012R2 編

インストールガイド





ご使用上の注意

本ソフトウェアの用途について

本ソフトウェアは、OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される機器、用途には使用しないでください。

- ・ 人命に直接かかわる医療機器。
- 人身の損傷に至る可能性のある用途。(航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに直接関連する 用途)
- ・ 車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
- ・故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
- ・ これらに準ずる機器、用途。

ソフトウェア使用許諾契約書について

このソフトウェアのダウンロード、インストール又は使用に際しては、次のソフトウェア使用許諾契約書(以下本契約)の 内容が適用されることに同意いただく必要があります。ご同意いただけない場合には、このソフトウェアをダウンロードし、 コンピュータにインストールし又は使用しないでください。

[ソフトウェア使用許諾契約書]

このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」)は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社(以下オムロン) がお客様に許諾ソフトウェア(第1項の定義による)を使用許諾する条件を定めたものです。 許諾ソフトウェアのダウンロード、インストール又は使用に際しては、本契約の内容が適用されることに同意いただく必要 があります。

- 1. 本契約において、次の各号に掲げる用語の意味は、当該各号に定めるところによります。
- (1)「エンドユーザー」とは、オムロン UPS 及び許諾ソフトウェアが組み込まれたお客様製品を自己のもとで使用する最終 使用者をいいます。
- (2)「お客様製品」とは、お客様が製造及び販売する機器又はシステムソフトウェアをいいます。
- (3)「オムロン UPS」とは、お客様又はエンドユーザーがオムロンから直接又は販売店その他の第三者を通して購入したオムロンの無停電電源装置(UPS)をいいます。
- (4)「許諾コンピュータ」とは、1台又は複数のコンピュータであって、お客様又はエンドユーザーが所有し、かつ、1台のオムロン UPS から電源供給を受けているものをいいます。
- (5)「許諾ソフトウェア」とは、コンピュータ・プログラム「PowerAct Pro」及びそれに関連する一切のドキュメントで当 該プログラムとともに配付されるものをいいます。
- 2. オムロンは、お客様に対し、本契約に基づき許諾ソフトウェアに関し次に掲げる非独占的権利を許諾します。
- (1)オムロン UPS を監視及び管理する目的に限り、一つ又は複数の許諾ソフトウェアの複製物を作成し、許諾コンピュータ において当該複製物を使用する権利。

(2)オムロン UPS を監視及び管理する目的に限り、一つ又は複数の許諾ソフトウェアの複製物をオブジェクトコードの形式

で作成し、オムロン UPS 及び許諾ソフトウェアを組み込んだお客様製品の一部として直接又は販売店その他の第三者を 通してエンドユーザーに対しこれを頒布する権利。

(3)前号による頒布の目的に限り、ハードディスクドライブのクローニング(複製)のためのマスター・ハードディスクド ライブ(ハードディスクドライブ・イメージを含む)の一部としてオブジェクトコード形式で許諾ソフトウェアの複製物 を作成する権利。

(4)バックアップの目的に限り、一つの許諾ソフトウェアの複製物を作成する権利。

 許諾ソフトウェアは、前項により使用許諾されるものであり、許諾ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産権が 本契約に基づきお客様に移転することはありません。お客様は、前項に基づき明示的に許諾されたものを除き、許諾ソフト ウェアに関する次に掲げる行為を行うことはできません。

(1)複製又は改変

(2) 第三者への再使用許諾、譲渡又は貸与

(3) 逆コンパイル、逆アセンブリ、リバースエンジニアリングその他これらに類する行為

(4) 外国為替及び外国貿易管理法その他お客様に適用される輸出管理規制に違反する行為

- 4. お客様は、許諾ソフトウェアに含まれる情報を機密として取扱い、第三者へ開示しないものとします。
- 5. お客様が許諾ソフトウェアのライセンスを購入した日又はお客様が許諾ソフトウェアをインストールした日のいずれか早く到来する日から 90 日以内に許諾ソフトウェアの作動のマニュアルへの重大な不一致があることを発見してオムロンにその旨を通知した場合、オムロンは、当該不一致が当該期間内にお客様から書面で報告され、かつ、再現可能であるときに限り、オムロンの費用負担で当該許諾ソフトウェアを交換し又は当該不一致を修正いたします。

当該交換又は修正によって当該不一致のすべてが除去されるものではありません。

オムロンは、オムロンの選択により、当該交換又は修正に代えてお客様が許諾ソフトウェアを購入するために支払った費用 を返金することができます。この場合、この契約は終了します。

上記にかかわらず、当該不一致がお客様又は第三者によるオムロン UPS 若しくは許諾ソフトウェア又はコンピュータの不適 切な使用又は取扱いにより生じた場合、取扱説明書の指示に従わなかったことにより生じた場合又は使用されることが意図 されていない設備機器とともに使用された場合については、上記の許諾ソフトウェアの交換又は修正の対象外となります。 さらに、この項の最初の段落にかかわらず、ユーザーがオムロン UPS に同梱の記録媒体又はオムロンのウェブページからの ダウンロードにより許諾ソフトウェアを無償で入手した場合、許諾ソフトウェアは、現状有姿で提供され、この項は適用さ れません。

- 前項は、オムロンの許諾ソフトウェアの作動及び不作動に関する責任のすべてを定めるものであり、オムロンは許諾ソフト ウェアの作動及び不作動により発生した、お客様の直接的、間接的、あるいは波及効果による損害、特別な事情による損害、 逸失利益についての損害に対しては一切の責任を負いません。
- オムロンは、お客様が許諾ソフトウェアを他社のソフトウェアと連携させて使用した場合の許諾ソフトウェアの目的適合性、 動作性、第三者の知的財産権の非侵害及び合法性については、一切の保証をいたしかねます。お客様ご自身にてご確認いた だき、許諾ソフトウェアのご利用の可否をご判断ください。
- 許諾ソフトウェアの改変並びに逆コンパイル、逆アセンブリ及びリバースエンジニアリングその他のそれに類する行為により、特許権(実用新案権に基づく権利も含む。以下同じ)、著作権又は営業秘密を侵害するものとしてオムロンに使用を許

諾している第三者又は当該第三者以外からお客様が請求された場合にはオムロンは責任を負いません。

- オムロンがお客様の損害について責任を負ういかなる場合においても、オムロンの責任はお客様が許諾ソフトウェアにより 監視及び管理している無停電電源装置(UPS)の購入代金として支払った金額又は許諾ソフトウェアのライセンスの購入代 金として支払った金額のいずれか低い方の金額を超えることはありません。
- 10.お客様が本契約に違反した場合、オムロンはお客様に通知することにより許諾ソフトウェアの使用許諾を終了させること ができます。

その場合、お客様は許諾ソフトウェア及びそのすべての複製物をオムロンに返却し又は削除しなければなりません。

11.本契約は、日本国法に基づき解釈されるものとします。

12.お客様が日本に居住する個人又は日本法に基づき設立された法人の場合には、本契約に関する一切の紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

その他の場合には、本契約に関する一切の紛争については、一般社団法人日本商事仲裁協会の商事仲裁規則にしたがって、 東京において仲裁により最終的に解決されるものとします。

仲裁人の裁定は、最終的かつ本契約の当事者を拘束するものとします。

運用に関するおことわり

- 1. 本ソフトウェアおよび本書の内容の全部または一部を無断で流用することは固くお断りいたします。
- 2. 本ソフトウェアおよび本書の内容については将来、予告なしに変更する場合があります。
- 本ソフトウェアおよび本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやお気づきの点がございましたら、 当社までご連絡くださるようお願いいたします。
- 4. 本書に記載した画面などは、実際のものとは一部異なる場合があります。
 - 「PowerAct Pro」はオムロン株式会社の登録商標です。
 - Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本書の読み方

本書の構成

本書は以下の内容で構成されています。

はじめに	本ソフトウェアの特徴と、全体のシステム構成について記述
インストール	本ソフトウェアのインストールの前提条件と、IIS を使用する、Web サーバを使用し
	ない、2種類のインストール方法について記述
シャットダウン動作の確認	シャットダウン時の動作設定やシャットダウンテストの実行方法について記述
こんなときには	トラブルシューティング
付録	動作シーケンスについて記述

本書で使用する表記

本書では、以下の表記を使用しています。

表記	意味
注意	守っていただきたい事項、操作上の注意を要する事項を記載しています。
	記載をよくお読みになり、必ず指示に従ってください。
参考	役立つ情報やヒントとなる情報を記載しています。
G.	関連する情報や操作方法を記載しています。
本ソフトウェア	「PowerAct Pro Master Agent」を指します。
マスタ	「PowerAct Pro Master Agent」を指します。
当社ホームページ	以下の URL をご参照ください。
	https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/index.html
[]	画面に表示される項目で、操作対象のもの(クリックできるボタン類)は[]で記載していま
	す。
۲ J	上記以外の画面に表示される項目や、リンク先については「 」で記載しています。

目 次

ご	吏用上	の注意	1
本	書の読	み方	4
目	次…		5
1	はじと	カに	7
	1-1	特徴と機能	7
	1-2	機器の接続と運用	8
		1-2-1 コンピュータを1台接続する場合	8
		1-2-2 コンピュータを2台以上接続する場合	8
		1-2-3 仮想化 OS の構成例	.10
	1-3	インストールの種類	11
	1-4	インストールの手順と動作確認	12
2	インス	ストールの準備	13
	2-1	インストールの前に	13
	2-2	動作環境	13
3	インス	ストール方法 – ⅡS を使用する場合 –	14
	3-1	IIS の有効化と設定	14
	3-2	本ソフトウェアのインストール	23
	3-3	セキュリティとポップアップブロックの設定	31
	3-4	サーバ証明書のインストール	36
4	インス	ストール方法 – Web サーバを使用しない場合 –	41
	4-1	本ソフトウェアのインストール	41
5	シャ	ットダウン動作の確認	49
	5-1	シャットダウンパラメータの設定 – Web サーバ使用 –	49
		■基本設定(必ず使う設定)	.51
		■応用設定(環境により使う設定)	.52
	5-2	シャットダウンパラメータの設定-Webサーバ不使用	53
		■基本設定(必ず使う設定) エラー! ブックマークが定義されていません	10
		■応用設定(環境により使う設定)エラー! ブックマークが定義されていません	10

	5-3	シャット	ダウンテスト	
6	アン・	インスト-	ール(削除)方法	59
	6-1	本ソフト	ウェアのアンインストール	
7	こんが	なときには	t	61 <u>1</u>
	7-1	[HTTP 7	ポートをチェック」の警告が出たら	61 <u>1</u>
		7-1-1	本ソフトウェアのインストール途中でポート番号を変更する	61 <u>1</u>
		7-1-2	インストール完了後に HTTP ポート番号を変更する	63 <u>3</u>
	7-2	UPS と通	信できない	68 <u>8</u>
		7-2-1	USB 接続の場合	69
		7-2-2	Web サーバ使用環境	70
		7-2-3	Web サーバ不使用環境	72
		∎通信オ	ペートを「自動」で設定する	72
		∎通信オ	ペートを「手動」で設定する	77
		7-2-4	「通信ポートの設定」で「手動」を選択する場合	83
	7-3	復電時に	サーバを自動起動させる	
		7-3-1	UPS とサーバの自動起動設定	85
		7-3-2	UPS 停止前に復電した場合にコンピュータが自動起動しない	87
		∎Web <u>+</u>	ナーバ使用環境	87
		∎Web !	ナーバ不使用環境	
付	録			
	付-1	シャット	~ダウン動作シーケンス	
		付-1-1	初期設定値の動作シーケンス	90
		付-1-2	応用設定した場合の動作シーケンス	91
		付-1-3	UPS の出力停止前に復電した場合の注意点	

1 はじめに

1-1 特徴と機能

自動シャットダウンソフト PowerAct Pro MasterAgent(以下、本ソフトウェア)は、冗長電源や出力コンセン ト制御などの機能を搭載した電源管理ソリューションです。

本ソフトウェアには以下の機能があります。

スケジュール運転	UPS の停止、起動や自己診断テストを行うことができます。
連携シャットダウン	ネットワーク上の複数のサーバやクライアントを連携してシャットダウンさせる
	ことができます。
出力コンセント制御	出力コンセント制御機能を搭載した UPS と本ソフトウェアを組み合わせることに
	より、コンセントグループ毎に出力停止/開始時間を制御することができます。
GUI	グラフィカルな画面で各種設定をすることができます。
仮想化サーバ対応	Hyper-V/VMware に対応し、複数のゲスト OS をシャットダウンすることができ
	ます。 ゲスト OS へのインストールは不要です。
スクリプトシャットダウン	ソフトウェアをインストールできないアプライアンスサーバ等も、スクリプトを
	使ってシャットダウンできます。
ping 監視・モバイル端末監視	Ping 応答による接続機器の死活監視やネットワーク上の端末の稼働状況監視、モ
	バイル端末からのコンセント制御(リブート)ができます。
SNMPv3 対応	SNMPv3 に対応し、セキュアな環境でネットワーク上の電源管理ができます。
CO2 監視機能	接続機器の消費電力から、CO2 排出量を手軽に測定できます。スケジュール運転
	機能と併用すれば、夜間・休日は、機器の稼働を停止させることで CO2 や電気料
	金の削減ができます。

参考

自動シャットダウンソフトとは

自動シャットダウンソフトは無停電電源装置(以下、UPS)に併用するソフトウェアで、一定時間内にシステムを 正常終了させ、ハードディスクやシステムファイルの破損等を防ぎます。

サーバーやコンピュータ等のシステムを UPS に接続される場合は、自動シャットダウンソフトのセット使用を推奨します。

1-2 機器の接続と運用

マスタ	UPS を管理するソフトウェアで、USB 又は RS232C ケーブル経由で常時 UPS を監視
(Master Agent)	します。停電時のシャットダウンやスケジュール運転、出力コンセント制御機能等を
	持っています。
	UPS 1台につき、マスタは1台です。
スレーブ	マスタの命令に従い OS をシャットダウンするソフトウェア。
(Slave Agent)	マスタとはネットワーク通信で連携します。

PowerAct Pro はマスタとスレーブ、2つのソフトウェアで構成されます。

1-2-1 コンピュータを1台接続する場合

UPS 付属の通信ケーブルでコンピュータと UPS を接続し、本ソフトウェアをインストールします。



1-2-2 コンピュータを2台以上接続する場合

■サーバ(または、一番長く稼働しているコンピュータ) UPS 付属の通信ケーブルでコンピュータと UPS を接続し、本ソフトウェアをインストールします。

- コンピュータ(UPSと直接通信しないコンピュータ)
 以下のどちらかの方法で本ソフトウェアと連携させてください。
 ① スレーブをインストールする(スレーブ対応 OS)
 - ② 本ソフトウェアからスクリプトコマンドを発行する(スレーブ非対応 OS 等)

UPS に複数のコンピュータを接続する場合





1-2-3 仮想化 OS の構成例

Windows Server の Hyper-V 機能による仮想環境で使用する場合は、ホスト側に本ソフトウェアをインストールします。

- ・ マスタ/スレーブともにインストール可能です
- ・ マスタをインストールする場合は、RS232Cまたは USB で接続してください
- ・ スレーブをインストールする場合は、同一セグメントのネットワーク内にマスタが必要です



参考

ゲスト OS の終了処理は、ホストにインストールした本ソフトウェア又はシステム側で行いますので、ゲスト OS に インストールする必要はありません。

1-3 インストールの種類

本ソフトウェアは Web モニタ画面で各種設定、UPS の管理を行います。

モニタ画面を表示する為に、Webサーバを併用します。Webサーバは、WindowsOS標準サービスのIIS(Internet Information Services)を使用します。

なお、ブラウザを使わずにコンソールから制御する方法もあります。

ご利用の環境に合わせて、インストール方法を選択してください。

IIS を使用する場合	P.14 参照
Web サーバを使用しない場合	P.41 参照

参考

Web サーバを使用しない場合、GUI では簡単なシャットダウン項目のみの設定になります。

☞ P.53「5-2 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ不使用-」

簡単なシャットダウン項目以外はコンソールを使用して設定します。コンソールの設定方法については、別冊の『コン

ソール設定ガイド』を参照してください。

モニタ画面

OMRON				手動	エージェント検索:	<u> </u>			検ア
システム	ログ	UP	S 設定		手動操	作	,	ヘルプ	
日時: 2016年02月05日 13:29:48 前回のバッテリ使用開始日(交換日):	次回のバッ 2015年09月05日	·テリ交換: 2]	017-02-05						
💥 環境設定	UPS型式:		BN150R	_	ブザー:		なら	đ	_
🙆 スケジュール	UPS状態: 出力コンセントA 出力コンセントB	(制御なし): (制御あり):	商用運転中 出力中 出力中		ファンクション バッテリ自動デ UPSコールドス 出力電圧/入力	テストステー? スト: タート機能: 感度:	9ス:する する しな 100	い V /種準感	Ŧ
💦 イベント情報	出力コンセントC	(制御あり):	出力中		UPS自動再起動:		7 3		_
💞 イベントログ	増設パッテリ:		11.15		通信ポート: テスト結果:自	USB 1 💙 己診断 異常	なし	定	
■ データログ	入力電圧:	40	60	80	100	120	140	101.5	v
■ 終了アプリケー	出力電圧:	40	60	80	100	120	140	101.6	v
■◎ ション情報		40	45	50	55	60	65		
🏥 エージェント検索	人刀周波数:	40	45	50	55	60	65	50.0	Hz
? ヘルプ	出力周波数:			-	75		105	50.0	Hz
	接続容量:	0	25	50	/5	100	125	0	%
	バッテリ容量:	0	25	50	75	100	125	90	%

1-4 インストールの手順と動作確認

以下の手順で本ソフトウェアのインストールと動作の確認をします。



2 インストールの準備

2-1 インストールの前に

インストールを開始する前に、以下の事項をご確認ください。

- ・Administrator 権限のあるユーザ名で OS にログインしてください。
- ・ご環境でOSが正常に終了できることを確認してください。
- ・他の自動シャットダウンソフトを使用している場合は、必ずそのソフトウェアをアンインストールし、OSを 再起動してください。各ソフトウェアのアンインストール方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。
- ・UPS 付属の通信ケーブルでサーバと UPS を接続してください。

注意 本ソフトウェアは、オムロン製 UPS およびオムロン製 OEM 供給品の UPS 以外では使用できません。

2-2 動作環境

最新の動作環境については当社ホームページをご参照ください。

https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products service/ups/index.html

3 インストール方法 – IIS を使用する場合 –

3-1 IIS の有効化と設定

1 [スタート] ボタン→ [管理ツール] をクリックする

スタート				Ac	lministrator	2	ወ	ړ
していた。 サーバー マネー ジャー	Windows PowerShell	(管理ツール		ריי אלעמל אעקב	egj Arch			
PC	<u>রি</u> রুহ্রচ হক-উष-							
	Internet Explorer							
デスクトップ	🖬 Windows Server 20042							
\rm 1 個の新しい)	アプリがインストールされ	ほした						

2 [サーバーマネージャー] をダブルクリックする

🖄 l 🍃 📗 👳 l 👘	管理ツール	レ ショートカット ツール アプリケーション ツール					_ 0	x	
ファイル ホーム	共有 表示	表示 管理 管理					^ 🕜		
□ピー 貼り付け 記	<u>▶</u> 移動先 ▾ 脂 コピー先 ▾	★ 削除 ▼ ● 名前の変更	し 新し フォル	↓ ● ル ダー	ว ่อ <i>เ</i> ริรา	•	■ すべて選択 ※ 選択解除 ● 選択の切り	マ 2替え	
クリップボード	1	整理		新規	開く		選択		
🔄 🗇 ד 🕇 🕏	。 « システムとセ	キ ▶ 管理ツール	/	~ ¢	管理ツー	ールの検	索	,c	
😭 お気に入り	^ 名	前	•			更新日	時	種類 ^	
📕 ダウンロード	8	🔊 Windows メモリ診断					2013/08/22 15:52		
📰 デスクトップ	=	🔝 イベント ビューアー					2013/08/22 15:55		
🗐 最近表示した特	易所 🛛 🖻	🛃 コンピューターの管理					2013/08/22 15:54		
	Ē	᠈ᠴン᠊ᢜ᠆ᡷント᠊ᡛ᠆	2013/	£-≡-€					
p PC		コサーバー マネージャ	r-)			2013/	08/22 15:55	29-	
] ダウンロード	2	サービス				2013/	08/22 15:54	\$-≡€	
隆 デスクトップ	8	システム構成				2013/	08/22 15:53	£9-	
📗 ドキュメント	2	システム情報				2013/	08/22 15:53	£a	
🍃 ピクチャ	t de la constante de la consta	マキュリティが強化	されたい	Vindows フ	ァイア	2013/	08/22 15:45	£/a−	
🍺 ビデオ		🔁 セキュリティの構成ウィザード 2013/08/22 15:45							
] ミュージック		☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 							
23 個の項目 1 個	の項目を選択	1.13 KB							

3 [管理(M)]をクリックして、[役割と機能の追加]を選択する

・ ダッシュボード ・ ② 「 ・ ・ ② 「 ・ ○ ・ ○ ・ ○ ・ ○ □ ・ ○ □	管理(M) ツール(T) 表示(Y) ヘルプ(H) 役割と機能の追加
■ <u>ダッシュポード</u> サーバー マネージャーへようこそ	役割と機能の削除 サーバーの追加
■ ローカル リーバー ■ すべてのサーバー ■ ファイル サービスと… ▶	サーバー グループの作成 サーバー マネージャーのプロパティ
2 役割と機能の追加	=
3 管理するサーバーの追加	
展新開報(型) 4 サーバー グループの作成	
詳細情報(<u>L)</u>	非表示
役割とサーバー グループ 役割の数:1 サーバー グループの数:1 サーバーの合計数:1	
ファイル サービスと記憶 域サービス 1	- 1
① 管理状態 ① 管理状態 イベント イベント イベント	

4 [次へ(N)] ボタンをクリックする

b	役割と機能の追加ウィザード	>	x
開始する前に	,	対象サーバー 「110-work-yori	
開始する前に インストールの種類	このウィザードを使用すると、谷割、役割サービス、または機能をインストールできます。ドキュメントの共 のホストなどの組織のコンピューティング ニーズに応じて、インストールする役割、役割サービス、または株 す。	有や Web サイト 縦を決定しま	
サーバーの選択 サーバーの役割	役割、役割サービス、または機能を削除するには、次の手順を実行します: 役割と機能の削除ウィザードの起動		
機能	続行する前に、次のタスクが完了していることを確認してください。		
確認 結果	 管理者アカウントに強力なパスワードが設定されている 静的 IP アドレスなどのネットワークの設定が構成されている Windows Update から最新のセキュリティ更新プログラムがインストールされている 前提条件が完了していることを確認する必要がある場合は、ウィザードを閉じて、それらの作業を完了 ドを再度実行してください。 	してから、ウィザー	
	続行するには、 [次へ] をクリックしてください。		
	□ 既定でこのページを表示しない(<u>S</u>)		
	<前へ(2) (次へ(1))> インストール(1)	キャンセル]

5 「役割ベースまたは機能ベースのインストール」を選択し [次へ(N)] ボタンをクリックする

a	役割と機能の追加ウィザード	_ D X
トレンストールの種类 間始する前に ・ ・	 役割と機能の追加ウィザード のご理択 インストールの種類を選択します。役割および機能は、実行中の物理コンピューター、仮 の仮想ハード ディスク (VHD) にインストールできます。 役割ペースまたは機能ペースのインストール 役割、役割サービス、および機能を追加して、1 4のサーバーを構成します。 リモートデスクトップ サービスのインストール 仮想デスクトップ ソフラストラクチャ (VDD) に必要な役割サービスをインストールして ション ペースのデスクトップ 実開を作成します。 	
	<前へ(<u>P</u>) 次へ(<u>M</u>) > イ	ンストール(I) キャンセル

6 サーバーを選択して、[次へ(N)] ボタンをクリックする

a	役割と機能の追加ウィザード	_ D X
対象サーバーの選	択	対象サーバー T110-work-yori
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 機能 確認 結果	 役割と機能をインストールするサーバーまたは仮想ハード ディスクを選択します。 ●「サーバーブールからサーバーを選択 ● 仮想ハード ディスクから選択 サーバー ブール フィルター: 名前 IP アドレス オペレーティング システム T110-work-yori 192.168.2.8 Microsoft Windows Server 2012 F このページには、Windows Server 2012 を実行しており、サーバーマネージャーの [サーバーの 用して追加されたサーバーが表示されます。オフライン サーバーや、データ収集が完了していない、ま サーバーは表示されません。 	2 Datacenter 2 Datacenter ジ島加口 コマンドを使 新たにご島加された
	<前へ(<u>P</u>) (次へ(<u>N</u>) > インストール	 (I) キャンセル

7 「Web サーバー(IIS)」をクリックする

b	役割と機能の追加ウィザード	_ D X
▶ ▶ ▶ ▶ ■	役割と機能の追加ウイザード 選択したサーバーにインストールする役割を 1 つ以上選択します。 役割 ▲ Active Directory Federation Services ▲ Active Directory Rights Management サービス ▲ Active Directory ドメイン サービス ▲ Active Directory ドメイン サービス ▲ Active Directory 証明書サービス □ DHCP サーバー □ DNS サーバー □ FAX サーバー	・ ロ × 3)象サーバー T110-work-yori 説明 Active Directory フェデレーション サー どス(AD F5)は、セキュリティで保護され た簡易な ID フェデレーション機能と 操作します。AD F5 には、プラウザー ペースの Web SSO を有効にするフェデ レーション サービスが含まれます。
	Web サーバー(IIS) Windows Server Essentials エクスペリエンス Windows Server Update Services Windows 展開サービス アプリケーション サーバー マカリケーション サーバー (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○)	1ンストール(I) キャンセル

8 [機能の追加] ボタンをクリックする



9 「Web サーバー(IIS)」にチェックが入ったことを確認し [次へ(N)] ボタンをクリックする



10 [次へ(N)] ボタンをクリックする

è	役割と機能の追加ウィザード	_ D X
機能の選択 開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割 ガーバーの役割 機能 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 確認 結果	役割と機能の追加ウイザード 選択したサーバーにインストールする機能を 1 つ以上選択します。 機能 ■ NET Framework 3.5 Features (2/7 個をインスト □ NET Framework 4.5 Features (2/7 個をインスト □ BitLocker ドライブ暗号化 □ BitLocker オットワーク Dック解除 □ BitLocker オットワーク Dック解除 □ Direct Play □ HTTP プロキシを経由した RPC □ IS ホスト可能な Web コア □ IP アドレス管理 (IPAM) サーバー □ ISN S サー/Γ- サービス □ LPR ポート モニクー Мanagement OData IIS 拡張機能 NFS クライアント	またした またのでは またり またした またした より にした またした またした またした またした なた した よた した した した した した した した した した し
	□ RAS 接続マネージャー管理キット (CMAK) □ DDC (0) × <	
	< 前へ(P) (次へ(N)	1>21-1/1) +1>21-

11 [次へ(N)] ボタンをクリックする

a	役割と機能の追加ウィザード	-		х
Web サーバーの将	设割 (IIS)	对: 110-w	象サー/ /ork-y	(— ori
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの没利	Web サーバーは、インターネット、またはイントラネットやエクストラネットを介して、情報を共有できるコン Web サーバーの役割にはインターネット インフォメーション サービス (IIS) 8.5 が含まれます。IIS 8. の強化、診断および管理、IIS 8.5、ASP.NET、および Windows Communication Foundati 統合 Web ブラットフォームを備えています。 注意意味道。	ピュー 5 は、t on を給	ターで 2キュリ 充合し	す。 ティ た、
機能 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 確認 結果	 Windows システム リソース マネージャー (WSRM) を使用すると、Web サーバーのトラフィックを ます。特にこのコンピューターに複数の役割がある場合は有効です。 Web サーバー (IIS) の役割の起定のインストールには、静的なコンテンツの提供、簡単なカスタマ キュメントや HTTP エラーなど)、サーバーの動作状況の監視やログへの記録、静的なコンテンツのE 現するための役割サービスのインストールが含まれます。 	平等に イズ (B E縮の	処理での現実の現実の	きょう
	Web サーバー IIS の詳細			
	<前へ(2) (次へ(2)) インストール(1)	\$	ャンセ	ιL

12 「チェック項目」を参照の上、追加する項目をチェックし [次へ(N)] ボタンをクリックする



■ チェック項目



13「インストール(I)」ボタンをクリックする

a	役割と機能の追加ウィザード	x
インストール オプショ	当ンの確認 T110-work-yo	- ri
開始する前に	選択したサーバーに次の役割、役割サービス、または機能をインストールするには、 [インストール] をクリックしてください	,۱.
インストールの種類	□ 必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する	
サーバーの選択	オプションの機能(管理ツールなど)は、自動的に選択されるため、このページに表示されている可能性があります。こ	n
サーバーの役割	らのオフションの機能をインストールしない場合は、【則へ】をグリックして、チェック ホックスをオフにしてくにさい。	
機能	IIS ホスト可能な Web コア	
Web サーバーの役割 (IIS)	Web サーバー (IIS) 管理W-II	
役割サービス	IIS 6 管理互换	
確認	IIS 6 管理コンソール	
結果	IIS 6 スクリフト ツール IIS 6 メタベース 万勝	
	IIS 6 WMI 互换	
	IIS 管理コンソール	
	Web サーバー	
	アプリケーション開発	
	ISAPI 拡張	
	HTTP 共通機能	
	既定のドキュメント	
	ディレクトリの参照	
	日日 ドエンー 静的なコンテンツ	
	状態と診断	
	нттр ой	
	要求の監視	
	パフォーマンス 静的かって、テンツの圧縮	
	17キュリティ	
	要求フィルター	
	構成設定のエクスポート 代替ソース バスの指定	
	< 前へ(E) 次へ(N) > (1)ストール(I) キャンセル	۲

14 「インストールが正常に完了しました」のメッセージを確認し [閉じる] ボタンをクリックする

B	役割と機能の追加ウィザード	– – X
インストールの進行物	犬況	対象サーバー T110-work-yori
開始する前に インストールの種類 サーバーの選択 サーバーの役割	インストールの進行状況の表示 ・ ・ 酸脆のインストール T110-work-yori でインストールが正常に売了しました。	>
機能 Web サーバーの役割 (IIS) 役割サービス 確認 精具	IIS ホスト可能な Web コア Web サーバー (IIS) 管理サール IIS 6 管理 互換 IIS 6 管理 コンソール IIS 6 スクリプト ツール IIS 6 スクリプト ツール IIS 6 Xクース互換 IIS 6 WMI 互換 IIS 管理 コンソール Web サーバー アプリケーション開発 CGI ISAPI 拡張 HTTF 共連機能	
	 既定のドキュメント ディレクトリの参照 HTTP エラー 静均なンプランツ 状態と診断 HTTP ログ 要求の監視 パフォーマンス 静均なコンデンツの圧縮 セキュリティ 要求フィルター 	
	Cのウイザードを開じても、実行中の処理が中断されることはありません。処理の進行が ページを再度開いたりするには、コマンドノ「ーの [通知]をクリックし、[タスクの詳細] を 構成設定のエクスポート < 前へ(2) 次へ(N) > 開じ	5万を表示したり、この たクリックします。 る キャンセル

15 [ツール(T)] → [インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャー] をクリックする



16 「接続」メニューのサーバ名をクリックする

9	インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー	_ D X
ام الح	∜− 9	🕶 🗠 🟠 i 🕐 🕶
ファイル(E) 表示(⊻) ヘル	プ(<u>H</u>)	
推続 	Moresoft インターネット インフォメーション サービス 8 アグリケーション サーバーマネージャー 最近使用した接続 2面 「T110-WORK-YORI」 く W >	ンライン リソース S ニュースと情報 へ S ダウンロード III S ブオーラム cchvet Y
< <u>III</u> > 準備完了	US ニュース IIS ニュースは無効になっています。最新のオンライン ニュースを取得するには、[IIS ニュー クします。	IIS ニュースの有効化 スの有効化] リンクをクリッ .::
参考 環境によっては以	下確認画面が出ることがあります。この場合は「い	いいえ」を選択してくださ
インターネットイン 最新の Web Platform コン Platform の使用を開始しま	ンフォメーション サービス (IIS) マネージャー X ポーネントとの接続を維持するため、Microsoft Web きすか?	
 このメッセージを表示しまt 	はい いいえ キャンセル	

17 [ISAPI および CGI の制限] をダブルクリックする

🛐 インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー	_ D X
€ T110-WORK-YORI ►	🐱 🛛 🔐 🗸
ファイル(E) 表示(⊻) ヘルプ(出)	
	 操作 サーバーの管理 ● 再起動 ● 開始 ● 停止 アプリケーション ブールの表示 サイトの表示 ● 新しい Web Platform コンポー ネントの取得 ② ヘルブ
準備元了	₩ <u>∃</u> .:

18 「操作」メニューの [機能設定の編集] をクリックする

👣 インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー	_ D X
€ T110-WORK-YORI →	😰 🛛 🟠 🔞 -
ファイル(<u>F)</u> 表示(⊻) ヘルプ(<u>H</u>)	
接続 ISAPI および CGI の制限 マブルケージョンブーレーンで実行できる ISAPI および CGI 拡張を指定するには、この機能を使用します。 アブルケーションブーレーンで実行できる ISAPI および CGI 拡張を指定するには、この機能を使用します。 グルーブ化: グルーブ化なし ◆ ジルーブ化: グルーブ化なし ◆ 説明 ◆ 制限 パス	操作 追加 機能設定の編集 ② ヘルプ
構成: 'localhost' applicationHost.config	€ <u>1.</u> :

19 「特定できない CGI モジュールを許可する(C)」をチェックし [OK] ボタンをクリックする

ISAPI および CGI 制限の設定の編集 ? ×
✓ 特定できない CGI モジュールを許可する(C)
□ 特定できない ISAPI モジュールを許可する(S)
ОК \$ 7771

以上で IIS の有効化と設定は終了です。

「インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャー」、「サーバーマネージャー」画面を閉じ て、P.23「3-2 本ソフトウェアのインストール」に進みます。

3-2 本ソフトウェアのインストール

1 <u>当社ホームページ</u>より本ソフトウェアをダウンロードする

ファイル名: PAPV516_Master_Windows.zip

2 ダウンロードした「PAPV516_Master_Windows.zip」を解凍する

参考 「PAPV516_Master_Windows.zip」を解凍すると、「PAPV516_Master_Windows」フォルダが作成されます	•
 注意 ダウンロードしたファイルが「フォルダにチャックのついたアイコン」の場合、ダブルクリックでは正常にないことがありますので、必ず、以下の方法で解凍してください。 ① PAPV516_Master_Windows.zip アイコンを右クリックする ② コンテキストメニューの「すべて展開(T)」をクリックし、デスクトップ等、分かり易い場所を指定する 	解凍でき る
PAPVs Winc すべて展開(T) 7-Zip CRC SHA スタートにピン留めする(P)	

3 「PAPV516_Master_Windows」フォルダを開き、setup.exe をダブルクリックする



4 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pr	o(Master Agent) - InstallShield Wizard
	PowerAct Pro(Master Agent) の InstallShield Wizard へようこそ InstallShield Wizard (よ、PowerAct Pro(Master Agent) を コンピューターにインストールします。続行するには、「ひへ」をかりっりしてくださ い。
	< 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル

5 「使用許諾契約」に同意いただければ、「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択し [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	x
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	
 ソフトウェア使用許諾契約書 このソフトウェアのダウンロード、インストール又は使用に際しては、次のソフトウェア使用許諾契約書(以下本契約)の内容が適用されることに同意いただく必要があります。ご同意いただけない場合には、このソフトウェアをダウンロードし、コンピュータにインストールし又は使用しないでください。 レフトウェア使用許諾契約書 このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」)は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社(以下オムロン)がお客様に許諾ソフトウェア(第1項の定義による)を使用許諾する条件を定めたものです。 許諾ソフトウェアのダウンロード、インストール又は使用に除しては、本契約の内容が適用されることに同意いただ(必要があります。 ● 使用許諾契約の全条項に同意します(A) ● 使用許諾契約の全条項に同意します(A) 	
InstallShield 〈 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル	

参考

使用許諾契約に同意いただけない場合は本ソフトウェアを使用できませんので、[キャンセル] ボタンをクリックし

インストールを中止してください。

6 「標準インストール(ネットワーク機能あり)」を選択し[次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
セットアッフ[®] タイフ[®] ニースで最も適したセットアッフ [®] タイフ [®] を選択してください。
インストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D太へ]をワックして、操作を続行します。 ③ 標準インストール(ネットワーク機能あり)) ○ スタンドアローンインストール(ネッドワーク機能なし)
InstallShield (戻る(B) (次へ (N)) キャンセル

参考

- 「標準インストール」を選択した場合は、ネットワークを経由して以下の機能を利用することができます。
- ・Web モニタ画面で UPS の状態確認や制御、各種設定
- ・スレーブをインストールしたコンピュータのシャットダウン
- ・SNMP を利用したシャットダウン警告や指定したコンピュータへの UPS の動作情報の通知
- 7 「IIS Web サーバを使用する」を選択し [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
セットアッフ[®] タイフ[®] ニースに最も適したセットアッフ [®] タイフ [®] を選択してください。
インストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D欠へ]をソリックして、操作を続行しま す。 ● IIIS Webサーバを使用する ● Webサーバを使用しない
InstallShield 〈 戻る(B) 〈 次へ (M)〉 キャンセル

8 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
インストール先の選択 ファイルをインストールするフォルダを選択します。
セットアップは、)次のフォルダ(こ PowerAct Pro(Master Agent) をインストールします。
このフォルダへのインストールは、D欠へコボタンをクリックします。
別のフォルダヘインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルタを選択してください。
インストール先のフォルダ へYDecomory Files (、00)YDecomorate Dec(Marsten Accust)
C#Program Files (x80)#PowerAct Pro(Master Agent)
nstallShield

注意

本ソフトウェアを書き込み禁止のフォルダやネットワークドライブにインストールしないでください。 必ずローカルコンピュータのリードライト可能なハードディスクにインストールしてください。

参考

本画面では本ソフトウェアのインストール先の変更が可能です。 変更する場合は [参照(R)] ボタンでインストール先を選択してください。

9 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard		
プログラム フォルダの選択 プログラム フォルダを選択してください。		
セットアッフ省は、次にリストされているフロケラム フォルダにフロケラム アイコンを追加します。新しいフォルダ名を入力するか、 または既存のフォルダ リストから 1つを選択することもできます。 フロケラム フォルダ(P):		
PowerAct Pro 既存のフォルダ☆:		
Accession Accessories Administrative Tools Maintenance Startup System Tools		
InstallShield		

10 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
ファイル コピーの開始 ファイルのコピーを開始する前に、設定内容を確認してください。
プログラム ファイルのコピーを開始するための情報は次の通りです。設定を確認して、変更を必要とする場合は[戻る] ボタンをクリックします。現在の設定でよい場合は、โ次へ]ボタンをクリックするとファイルのコピーを開始します。
現在の設定
The install path: C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥
The main component folder: PowerAct Pro
Web Server: IS Webサーバを使用する
V
< >
InstallShield
< 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル

11 [いいえ(N)] ボタンをクリックする



参考

・暗号通信を使用する場合は [はい(Y)]を選択し、以下の画面は [OK] ボタンで閉じてください。

都道府県名(P):	Your state	
市町村名(L):	Your city	
会社名(N):	Your company	
部署名(U):	Your division	
サーパ名(S)	127.0.0.1	
プラペイトキー長(Bit)	2048	
有効期間(D):	3650	
Key パスフレイズ:	****	
CA パスフレイズ:	****	
ОК	キャンセル	
Dower Act Dro 0 4	ンフトがウフィキら	「艹」 バ証明書 」 をくこフト リー てくつ

12 「自動」または「手動」を選択し [OK] ボタンをクリックする

通信ポートの設定
通信ボートの設定方法を選択してください。
通信ポート 自動 ▼
参考

 「自動」を選択した場合、	COMポート、	USB ポートの順に UPS を検索します。	

- 「手動」を選択した場合、設定した COM ポートのみ検索します。
- ☞ P.83「7-2-4 「通信ポートの設定」で「手動」を選択する場合」
- 13 結果を確認し [OK] ボタンをクリックする

	通信ポートテス	へト結果
No. 1	通信ポート USB1	UPS形式 BN75T
	<u><u> </u></u>	

参考

「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、本ソフトウェアと UPS の通信ができていません。インストール上は問題ありませんので、[OK] ボタンをクリックして手順 16 に進んでください。

ここで UPS と通信させたい場合は P.68「7-2 UPS と通信できない」を参照してください。

注意 「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、手順14、15の画面は表示されません。

14 「UPS 使用開始日」、「バッテリ使用開始日(交換日)」、「次回のバッテリ交換(予定日)」を設定し [OK] ボタンをクリックする

バッテリ使用開始日(交換日)設定
【注意】 2000年1月1日以前の日付を設定することはできません。 設定する日付を再入力してください。 UPS使用開始日:
USB1 2015-03-17
パッテリ使用開始日(交換日):
2015-03-17
次回のパッテリ交換(予定日)
2016-03-17
<u> ロ</u> K キャンセル

15 [OK] ボタンをクリックする



16 [OK] ボタンをクリックする

く シャットダウンパラメータ	x		
シャットダウンパラメータ IIPS記動/亜記動 通信設定			
	1		
UPS出カコンセント選択 出カコンセントA (制)	御なし) _▼		
待機時間 60 ▼	1秒		
シャットダウン開始遅延 0	1秒		
外部コマンドライン			
外部コマンド"実行時間 0 👤] 秒		
シャットダウンに必要な時間 180 -	1秒		
OS 終了モード 「シャットダウン」で終	793 🗸		
仮想サーバ終了モード 「OS」が終了する	<u>_</u>		
ゲストロS終了モード 「シャットダウン」で終	793 <u>-</u>		
UPS自動停止 する 👤]		
- その他のデバイス			
出力コンセントA (制御なし) 180 -	1秒		
出力コンセントB (制御あり) 0	1秒		
出力コンセントC(制御あり) 0 ~	1秒		
へ入力電源異常時の最大バックアップ時間			
入力 電源異常時の 最大バックアップ時間 0	- Э		
L			
ОК			

参考

「シャットダウンパラメータ」画面ではシャットダウン動作等、本ソフトウェアの一部の機能が設定できます。

「PowerAct Pro モニタ」では全ての機能設定ができます。

☞ P.49 「5-1 シャットダウンパラメータの設定 – Web サーバ使用 – 」

17 パスワードは1~15 文字の半角英数字(A~Z、a~z、0~9) で設定する

די	クセス権設定
ロダインID[Admin]のパス5 設定したパスワードは高れ、 パスワード パスワードの確認入力	7- ドを設定してください。 Solid SCU てください。

注意

大文字/小文字は区別されます。設定したパスワードは、メモを取るなどして必ず保存しておいてください。

参考	
本パスワードは PowerAct Pro モニタにログインするときのパスワードです	
☞「5-1 シャットダウンパラメータの設定 – Web サーバ使用 – 」手順 4(P.50)	

18 [OK] ボタンをクリックする

ד	クセス権設定
ログインID[Admin]のパスリ 設定したパスワードは忘れ	フードを設定してください。 ないようにしてください。
パスワード パスワードの確認入力	***** ***** <u> <u> </u> </u>

19 [完了] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	
	InstallShield Wizard の完了 セットアップす、コンピュータへの PowerAct Pro(Master Agent) のインストールを 完了しました。
	< 戻る(B) 完了 キャンセル

以上で IIS を使用した本ソフトウェアのインストールは終了です。

続いて、P.31「3-3 セキュリティとポップアップブロックの設定」に進んでください。

3-3 セキュリティとポップアップブロックの設定

セキュリティ設定とポップアップブロックの例外設定をします。

1 [スタート] ボタンを右クリック→ [コントロールパネル(P)] → [ネットワークとインターネット] を クリックする



2 [インターネットオプション] をクリックする



3 [セキュリティ] タブをクリックする



4 [信頼済みサイト]を選択し [サイト(S)] ボタンをクリックする

インターネットのプロパティ ? ×		
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定		
セキュリティ設定を表示または変更するソーンを選択してください。		
く く		
信頼済みサイト このソーンには、コンピューターやファイルに損害を与えな サイト(S) と信頼している Web サイトが含まれています。 サイト		
このソーンに属する Web サイトがあります。 このソーンのセキュリティのレベル(L)		
このゾーンで許可されているレベル:すべて		
 中高 - ほとんどの Web サイトに適切です。 - 安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。 - 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。 		
□ 保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P)		
レベンレのガスダイイス(ビ)… 」 成正のレベンレ(U) すべてのゾーンを既定のレベンルにリセットする(R)		
OK キャンセル 適用(A)		

5 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする(S)」のチェックを外す



6 「この Web サイトをゾーンに追加する(D):」欄に「127.0.0.1」と入力し [追加(A)] ボタンをクリックする



7 「Web サイト(W):」欄に「127.0.0.1」が追加されたことを確認し「このゾーンのサイトにはすべてサーバー の確認(https:)を必要とする(S)」にチェックを入れ、[閉じる(C)] ボタンをクリックする



参考

手順5で「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする(S)」にチェックが入っていなかった場合は、チェックを入れずに手順8に進んでください。

続いて Internet Explorer を例にして、ブラウザのポップアップブロックの設定をします。

参考 Internet Explorer 以外のブラウザを使用する場合は、ブラウザ側でポップアップブロックの例外設定をしてください。

例外設定の対象は「127.0.0.1」です。

8 [プライバシー] タブを選択し [設定(E)] ボタンをクリックする

インターネットのプロパティ ? ×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定
設定
インターネット ゾーンの設定を選択してください。
中 コンパクトなブライバシー ポリシーのないサード パーティの Cookie をブ ロックします。 ・ ロックします。 ・ 個人を特定できる情報を明示的な同意なしに保存するサード パーティの Cookie をブロックします。 ・ ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
位置情報 □ Web サイトによる物理的な位置情報の要求を許可しない(L) サイトのクリア(C)
ポップアップ ブロック
✓ポップアップブロックを有効にする(E)
☑ InPrivate ブラウズの開始時に、ツール バーと拡張機能を無効にする(工)
OK キャンセル 通用(A)

9 「許可する Web サイトのアドレス(W):」欄に「127.0.0.1」と入力し [追加(A)] ボタンをクリックする



10 「許可されたサイト(S):」欄に「127.0.0.1」が追加されたことを確認し [閉じる(C)] ボタンをクリックする



参考 「インターネットのプロパティ」、「ネットワークとインターネット」 画面が開いていたら閉じてください。

以上でセキュリティとポップアップブロックの設定は終了です。

P.27 手順 14「SSL による暗号化通信」で「使用する」を選択した場合は、P.36「3-4 サーバ証明書のインストール」に、「使用しない」を選択した場合は、P.49「5-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」に進んでください。
3-4 サーバ証明書のインストール

1 [Program Files (x86)] フォルダ → [PowerAct Pro(Master Agent)] フォルダ → [server.crt] をダブルク リックする



2 [証明書のインストール(I)] ボタンをクリックする

	証明書	x
£	設 詳細 証明のパス	
		-
	この証明書の目的:	
	• すべての発行ポリシー	
	 9へ(のアノリケーンヨン パリシー 	
	発行先: 127.0.0.1	
	発行者: 127.0.0.1	
	有効期間 2015/03/19 から 2025/03/16	
	[証明書のインストール(I)] 発行者のステートメント(S)	
	ОК	

3 [次へ(N)] ボタンをクリックする

◎ 🐓 証明書のインポート ウィザード	~
証明書のインボート ウィザードの開始	
このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピー します。	
証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキユリティで保 護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシス テム上の領域です。	
保存場所 ● 現在のユーザー(<u>C</u>) ○ ローカル コンピューター(<u>L</u>)	
続行するには、[次へ] をクリックしてください。	
次へ(N) キャンセル	
次へ(N) キャンセル	

4 「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」を選択し [参照(R)] ボタンをクリックする

	x
● 🖻 証明書のインポート ウィザード	
証明書ストア	
■1913/01/2 証明書フトマは 証明書が保管されるミステムトの領域です。	
Windows に証明書ストアを自動的に違択させるか、証明書の場所を指定することができます。	
○ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)	
● 証明書をすべて次のストアに配置する(P)	
証明書ストッ:	
参照(<u>R</u>)	
\smile	
	_
次へ(N) キャンセ	IL

5 [信頼されたルート証明機関]を選択し [OK] ボタンをクリックする



6 「証明書ストア」欄に「信頼されたルート証明機関」が選択されていることを確認し [次へ(N)] ボタンを クリックする

×
● ● 証明書のインポート ウイザード
証明書ストア 証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。
Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。
 <u>証明書の種類に基づいて、自動的に証明書</u>ストアを選択する(<u>U</u>) 証明書をすべて次のストアに配置する(<u>P</u>)
次へ(N) キャンセル

7 [完了(F)] ボタンをクリックする

중 ♂ 証明書のインポート ウィザード	X
証明書のインボート ウィザードの完了	
[完了] をクリックすると、証明書がインポートされます。	
次の設定が指定されました:	
	売了(E) キャンセル

8 [はい(Y)] ボタンをクリックする



9 [OK] ボタンをクリックする



10 [OK] ボタンをクリックする

88	証明書	ĸ
1	般 詳細 証明のパス	
	証明書の情報 この CA ルート証明書は信頼されていません。信頼を有効にするにはこの 証明書を信頼されたルート証明機関のストアにインストールしてください。	
	 発行先: 127.0.0.1	
	発行者: 127.0.0.1	
	有効期間 2015/03/19 から 2025/03/16	
	証明書のインストール(I) 発行者のステートメント(S)	
	ОК	D

以上で IIS 使用時のサーバ証明書のインストールは終了です。

続いて P.49「5-1 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ使用-」に進みます。

4 インストール方法 – Web サーバを使用しない場合 –

4-1 本ソフトウェアのインストール

1 <u>当社ホームページ</u>より本ソフトウェアをダウンロードする

ファイル名: PAPV516_Master_Windows.zip

2 ダウンロードした「PAPV516_Master_Windows.zip」を解凍する

注意 ダウンロードしたファイルが「フォルダにチャックのついたアイコン」の場合、ダブルクリックでは正常に解凍でき ないことがありますので、必ず、以下の方法で解凍してください。
 PAPV516_Master_Windows.zip アイコンを右クリックする コンテキストメニューの「すべて展開(T)」をクリックし、デスクトップ等、分かり易い場所を指定する
PAPV5 Wint ダベて展開(T) 7-Zip CRC SHA スタートにピン留めする(P)

3 「PAPV516_Master_Windows」フォルダを開き、setup.exe をダブルクリックする

PAPV516_Master_W	indows	-
 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	スクトップ → PAPV516_Master_Window	s ~ Ĉ
🔜 デスクトップ	^ 名前	^
🔮 ドキュメント	UpdateTool	
📰 ピクチャ	補足資料	
📕 ビデオ	🖏 setup.exe	
🎝 ミュージック		
🏪 Windows (C:)	v <	
3 個の項目		

4 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pr	o(Master Agent) - InstallShield Wizard	×
	PowerAct Pro(Master Agent) の InstallShield Wizard へようこそ InstallShield Wizard は、PowerAct Pro(Master Agent) を コンピューターにインストールします。 続行するには、 D次へ] をりりゅうしてくださ い。	
	< 戻る(B) (次へ (M)) キャンセル	

5 「使用許諾契約」に同意いただければ、「使用許諾契約の全条項に同意します(A)」を選択し [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	x
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	X
 ソフトウェア使用許諾契約書 このソフトウェアのダウンロード、インストール又は使用に際しては、次のソフトウェア使用許諾契約書(本契約)の内容が適用されることに同意いただ(必要があります。ご同意いただけない場合には、このエアをダウンロードし、コンピュータにインストールし又は使用しないでください。 レフトウェア使用許諾契約書1 このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」)は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社オムロンがお客様(ご許諾ソフトウェアク第1項の定義による)を使用許諾する条件を定めたものです。許諾シフトウェアのダウンロード、インストール又は使用に除しては、本契約の内容が適用されることに(いただ、必要があります。) 使用許諾契約の全条項(こ同意します(A)) 「使用許諾契約の全条項(こ同意します(A)) InstallShield 	(以下) (以下) (以下 (同意 × 聊(P)
〈 戻る(B) ()次へ (N)>	キャンセル

参考

使用許諾契約に同意いただけない場合は本ソフトウェアを使用できませんので、[キャンセル] ボタンをクリックし インストールを中止してください。 6 「スタンドアローンインストール (ネットワーク機能なし)」を選択して、[次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
セットアッフ[®] タイフ[®] ニースでに最も適したセットアップ [®] タイプ [®] を選択してください。
インストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。D欠へ]を切っりして、操作を続行します。 す。
○ 福澤ユシストール(ネットワーク機能ない) ● スタンドアローンインストール(ネットワーク機能ない)
InstallShield 〈 戻る(B) (次へ (M)> キャンセル

参考

- 「標準インストール」を選択した場合は、ネットワーク経由で以下の機能が利用できます。
- ・"Web サーバ使用マスタ"の Web モニタから"Web サーバ不使用マスタ"の UPS 制御や各種設定と確認
- ・スレーブをインストールしたコンピュータのシャットダウン
- ・SNMP を利用したシャットダウン警告や指定したコンピュータへの UPS の動作情報の通知
- 7 「Web サーバを使用しない」を選択して、[次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
セットアッフ[®] タイフ[®] ニースでこ最も適したセットアッフ [®] タイフ [®] を選択してください。
インストールする機能を選択し、インストールしない機能の選択を解除します。「ケヘ」を外ックして、操作を続行します。 す。
 □IS Webサーバを使用する ● Webサーバを使用しない
InstallShield
< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル

8 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
インストール先の選択 ファイルをインストールするフォルタを選択します。
セットアップは、)次のフォルダに PowerAct Pro(Master Agent) をインストールします。
このフォルダへのインストールは、じ欠へ〕ホタンをクリックします。
別のフォルダヘインストールする場合は、[参照]ボダンをワリッウしてフォルダを選択してください。
ተንኳՒ− ル先 መን ォ ル\$ [*]
C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent) 参照(<u>R</u>)
nstallShield 〈戻る(<u>B</u>) (水へ(N)) キャンセル

注意

本ソフトウェアを書き込み禁止のフォルダやネットワークドライブにインストールしないでください。 必ずローカルコンピュータのリードライト可能なハードディスクにインストールしてください。

参考

本画面では本ソフトウェアのインストール先の変更が可能です。 変更する場合は [参照(R)] ボタンでインストール先を選択してください。

9 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard	x
フ[®]ログラム フォルタをの選択 フ [®] ログラム フォルタを選択してください。	
セットアップは、 ン欠にリストされているプログラム フォルダにフログラム アイコンを追加します。 新しいフォルダ名を入力するか、 または既存のフォルダ リストから 1つを選択することもできます。	
7°ኪゲラム フォルダ(₽):	
BITZ OD U DYA	
Accessibility	
Accessories Administrative Tools	
Maintenance Startup	
System Tools	
InstallShield 〈 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル]

10 [次へ(N)] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard
ファイル コピーの開始 ファイルのコピーを開始する前に、設定内容を確認してください。
プロクラム ファイルのコピーを開始するための情報は次の通りです。設定を確認して、変更を必要とする場合は[戻る] ホウンをクリックします。現在の設定でよい場合は、じ次へ]ホウンをクリックするとファイルのコピーを開始します。 現在の設定:
The install path: Image: C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥ The main component folder: PowerAct Pro Web Server: Web Server:
InstallShield
< 戻る(B) (次へ (N)) キャンセル

11「自動」または「手動」を選択し [OK] ボタンをクリックする

通信ポートの設定	
通信ポートの設定方法を選択してください。 通信ポート 自動 ▼ 	
参考	
「自動」を選択した場合、COM ポート、L	ISB ポートの順に UPS を検索します。
「手動」を選択した場合、設定した COM な	ポートのみ検索します。
☞ P.83「7-2-4 「通信ポートの設定」で	「手動」を選択する場合」

12 結果を確認し [OK] ボタンをクリックする

通信ポートテスト結果					
No.	通信ポート	UPS形式			
1	USB1	BN75T			
-					

参考

「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、本ソフトウェアと UPS の通信ができていません。インストール上は問題ありませんので、[OK] ボタンをクリックして手順 15 に進んでください。

ここで UPS と通信させたい場合は P.68「7-2 UPS と通信できない」を参照してください。

注意 「通信ポートテスト結果」が空欄の場合、手順 13、14の画面は表示されません。

13「UPS使用開始日」、「バッテリ使用開始日(交換日)」、「次回のバッテリ交換(予定日)」を設定し [OK] ボタンをクリックする

バッテリ使用開始日(交換日)設定
【注意】 2000年1月1日以前の日付を設定することはできません。 設定する日付を再入力してください。 UPS使用開始日:
USB 1 2015-03-17
パッテリ使用開始日(交換日):
2015-03-17
2016-03-17
<u>о</u> к +рубл

14 [OK] ボタンをクリックする

バッテリ使用開始日(交換日)設定結果							
No.	通信ポート	パッテリ使用開始日					
1	USB 1	2015-03-17					

15 [OK] ボタンをクリックする

V	シヤツ	トダウンパラメータ				
	シャットダウンパラメータ UPS起動/再起動 通信設定					
	_					
	UPS出力コンセント選択	出力コンセントA (制御なし) 🚽				
	待機時間	60 • 秒				
	シャットダウン開始遅延	0 • 秒				
	外部コマンドライン					
	外部コマンド、実行時間	0 • 秒				
	シャットダウンに必要な時間	180 • 秒				
	OS 終了モード	「シャットダウン」で終了する				
	仮想サーバ終了モード	「OS」が終了する				
	ゲストOS終了モード	「シャットダウン」で終了する 👤				
	UPS自動停止	₫ δ -				
	その他のデバイス					
	出力コンセントA(制御なし)	180 • 秒				
	出力コンセントB(制御あり)	0 _ 秒				
	出力コンセントC(制御あり)	0 _ 秒				
	入力電源異常時の最大バックアップ時間──					
	入力電源異常時の最大バックアップ時間	<u>0</u> ↔				
		++>2h				

参考 インストール完了後、デスクトップに作成される [シャットダウンパラメータ設定] のショートカットから本画面を 表示できます。

16 パスワードは1~15 文字の半角英数字(A~Z、a~z、0~9) で設定する

アクセス権設定	
ログインID[Admin]のパスワードを設定してください。 設定したパスワードは高れないようにしてください。 パスワード パスワードの確認入力	
注意 大文字/小文字は区別されます。 設定したパスワー	・ドは、メモを取るなどして必ず保存しておいてください。
参考	

本パスワード PowerAct Pro コンソールにログインするときのパスワードです。 ☞「7-2-3 Web サーバ不使用環境」手順4(P.73)参照 **17** [OK] ボタンをクリックする

יד	クセス権設定				
ロダインID[Admin]のパスワードを設定してください。 設定したパスワードは忘れないようにしてください。					
パスワード	****				
パスワードの確認入力	****				
	<u>o</u> k				

18 [完了] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard					
	InstallShield Wizard の完了 セットアップば、コンピュータへの PowerAct Pro(Master Agent) のインストールを 完了しました。				
	< 戻る(B) 売了 キャンセル				
参考					

「Program」フォルダ等開いている画面があれば、これを閉じてください。

以上で Web サーバを使用しない本ソフトウェアのインストールは終了です。

続いて、P.53「5-2 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ不使用-」に進みます。

5 シャットダウン動作の確認

5-1 シャットダウンパラメータの設定 – Web サーバ使用 –

1 デスクトップの [PowerAct Proモニタ] アイコンをダブルクリックする



2 [はい(Y)] ボタンをクリックする



3 本ソフトウェアをインストールしたサーバ名をクリックする

Ø	http://127.0.0.1	/ - Netsearch Wi	ndow - Inte	rnet Explorer	
OMRON			手動エージ	エント検索: 💻 📃	設定
システム	ログ	UPS 設定		手動操作	ヘルプ
🗙 環境設定					
🚫 スケジュール	マスター/スレーブ グルー	-ブ構成 UPS型式 RI BN75T	OPS状態 商用運転中	バッテリ状態 正常	通信ボート(通信状態) USB1 (通信中)
🔓 イベント情報					
📝 イベントログ					
📝 データログ					
🔊 終了アプリケー ション情報					
🌺 エージェント検索					
⑦ ヘルブ					
					~

4 「ログイン ID」に「Admin」、「パスワード」に本ソフトウェアのインストール時に設定したパスワードを入 力し[設定] ボタンをクリックする

OMRON	
ログイ>	
ログインID: Admin パスワード: •••••••	
	設定 キャンセル

注意

「Admin」の「A」は必ず大文字で入力してください。大文字/小文字は区別されます。

5 [環境設定]をクリックする

http://127.0.0.1/	′ - Power Act Pr	o Monito	r T110-W(ORK-Y	ORI (フルアク	セス) - Inte	rnet Ex	plorer 🕒		x
OMRON				手動	エージェント検索				検索	
システム	ログ	UP	S設定		手動操	作		ヽルプ		
日時: 2015年03月17日 18:28:43 前回のバッテリ使用開始日(交換日):	次回のバッテ 2015年03月17日	・リ交換: 2	016-03-17							
 ※ 環境設定 ② スケジュール ※ イベント情報 	UPS型式: UPS状態: 出力コンセントA () 出力コンセントB () 出力コンセントC ()	制御なし): 制御あり): 制御あり):	BN75T 商用運転中 出力中 未対応 未対応		ブザー: ファンクション バッテリ自動ラ UPSコールドフ 出力電圧/入力 UPS自動再起動	ンデストステー? テスト: スタート機能: J感度: b:	なら タス:する する しな 100 する	さない い V/標準感度		
📝 イベントログ	バッテリ状態: 増設バッテリ:		止吊		通信ポート: テスト結果:	USB 1 🗡	設	ک]	
📝 データログ	入力電圧:	40	60	80	100	120	140	101.4	v	
▶ 終了アプリケー ション情報	出力電圧:	40	60	80	100	120	140	101.3	v	
🏥 エージェント検索	入力周波数:	40	45	50	55	60	65	50.0	Hz	
? ヘルブ	出力周波数:	0	25	50	75	100	125	50.0	Hz	
	接続容量:	0	25	50	75	100	125	0	%	
	バッテリ容量:		23	50	75	100	125	100	%	
	次回のシャットダウン 推定バックアップ時間:	(日時): :375 分			次回のUPS起動	助(日時):				
2015-03-17 18:25:4通信廃立 [UPS(型式:BN75T / 通信ボート:USB 1)] UPSと通信を開始し 2015-03-17 18:25:44 エージェントを起動します。										

参考

「UPSの形式」が空欄の場合、本ソフトウェアと UPSの通信ができていません。

P.68「7-2 UPS と通信できない」を参照してください。

6 シャットダウンパラメータの設定をする

Ø	http://127.0.0.1/ - シャットダウンパラメータ - Internet Explorer
OMRON	
> シャットダウンパラメータ	 > UPS起動/再起動 > ログオプション > 通信設定
	デフォルト
>> シャットダウン パラメータ ① エージェント選択 ① 冗長電源設定 ② その他のデバイス ② Wake ON LAN 設定 ③ 出力コンセント情報 ③ スクリプトシャットダウン	エージェント選択 T110-WORK-YORI(マスター) ▼ 設定 UPS出力コンセント選択 出力コンセントA (制御なし) ▼ 特徴時間 60 ▼ 秒 シャットダウン開始遅延 0 ▼ 秒 外部コマンドライン ハ部コマンドライン ハ部コマンドま行時間 0 ▼ 秒 シャットダウンに必要な時間 180 ▼ 秒 OS杯 7モート 1シャットダウン」で終了する ▼ ゲストoS終了モード: 「OS」が終了する ▼
	UPS目動停止 する マ 設定 キャンセル

■基本設定(必ず使う設定)

E.

項目	設定内容					
待機時間	本ソフトウェアが入力電源異常を検出してから、シャットダウン動作					
	を開始するまでの時間を設定します。					
	初期值:60秒					
	☞待機時間内に復電(電源の復旧)を検出した場合、シャットダウン					
	動作は開始しません。					
	☞0 秒に設定した場合は入力電源異常を検出後、即シャットダウンが始					
	まります。ある程度余裕をもった時間を設定してください。					
シャットダウンに必要な時間	OS がシャットダウンを開始した時点から、UPS が自動停止するまで					
	の時間を設定します。					
	初期值:180 秒					
	※OS のシャットダウン途中で UPS が出力停止しないように、ある程					
	度余裕をもった時間を設定してください。					
OS 終了モード	OSの終了モードを設定します。					
	「シャットダウン」で終了する					
	「休止状態」で終了する					
UPS 自動停止	シャットダウン時に UPS を停止する設定です。					
	初期値:する					
	☞する UPSは「シャットダウンに必要な時間」経過後、出力停止					
	します。					
	☞しない UPS はバッテリが尽きるまでバックアップ運転を継続し					
	ます。					

■応用設定(環境により使う設定)

項目	設定内容
シャットダウン開始遅延	UPS に複数台のコンピュータを接続している環境で、他のコンピュータよ
	りシャットダウンの開始を遅くする場合に設定します。
	設定範囲:0~600 秒(60 秒単位で設定できます)
	初期値:0 秒(遅延なし)
外部コマンドライン	シャットダウン時に実行するプログラムのコマンドを入力します。
	プログラムの実行時間は下段の「外部コマンド実行時間」で設定します。
	※「実行するプログラム」とはデータを保存するプログラムなどを指します。
外部コマンド実行時間	「外部コマンドライン」で設定したプログラムの実行に必要な時間を設定し
	ます。実行中は OS のシャットダウン動作を一時停止します。
	設定範囲:0~600 秒(60 秒単位で設定できます)
	初期值:0秒
	※Hyper-V 機能使用時に仮想サーバを本ソフトウェアで終了する場合、ゲス
	ト OS(仮想サーバの OS)のシャットダウンに必要な時間を設定してく
	ださい。
仮想サーバ終了モード	ゲスト OS の終了処理を OS 側で行うか、 本ソフトウェアで行うか、 設定し
(ゲスト OS の終了管理)	ます。
	「OS」が終了する:
	ゲスト OS を OS 側の管理で終了させるモードです。
	※[ゲスト OS 終了モード]は無効になります。 ゲスト OS のシャットダ
	ウン時の動作は「Hyper-V マネージャ」で設定してください。
	「PowerAct Pro」が終了する:
	ゲスト OS を本ソフトウェアで終了させるモードです。
	追加で以下の設定が必要です。
	1 「外部コマンド実行時間」でゲスト OS の終了に必要な時間を設定し
	ます。選択範囲は 60 秒~600 秒(60 秒単位)です。
	2 「ゲスト OS 終了モード」で、ゲスト OS の終了方法を[シャットダ
	ウン]、[休止状態] から選択します。
	※「ゲスト OS 終了モード」はシャットダウンパラメータ起動時にゲスト
	OS が稼働状態にないと、選択できません。
ゲスト OS 終了モード	ゲスト OS の終了方法を [「シャットダウン」 で終了する]、[「休止状態」 で
	終了する] から選択します。

参考

- ・設定を変更したら、必ず [設定] ボタンをクリックしてください。
- ・「基本設定」はどの環境でも必ず使用します。「応用設定」は、必要に応じて使用してください。

以上でWebサーバを使用したシャットダウンパラメータの設定は終了です。

続いて、P.577「5-3 <u>シャットダウンテスト」に進みます。</u>

PowerAct Pro Master Agent インストールマニュアル (Windows Server 2012R2 用)

5-2 シャットダウンパラメータの設定-Web サーバ不使用-

1 タスクトレイの常駐アイコンを右クリックし [エージェント停止] を選択する



2 常駐アイコンに×が付くことを確認する



3 デスクトップの [シャットダウンパラメータ設定] をダブルクリックする



注意

[シャットダウンパラメータ設定] で設定を変更する場合は必ずエージェントを停止してください。

参考

「シャットダウンパラメータ」画面は、[スタート] → 「アプリ」→「PowerAct Pro」→「シャットダウンパラメータ設定」からも開くことができます。

4 シャットダウン動作の基本的な項目を設定する

٦Ľ	シャット	トダウンパラメータ	x
	2 อะเหลือ้างเกือง ยังเหตุลาสมาสะการมี เพ		
	シゼッドタリンパラメータ UPS起動/再起動 通	信設定	
	シャットダウンパラメーター	出力つくないトA (制御がし)	
	OPS出力JJJ/CノP連択		
	待機時間	60 1	
	シャットダウン開始遅延	0 • 秒	
	外部コマンドライン		
	外部コマンド、実行時間	0 • 秒	
	シャットダウンに必要な時間	180 • 秒	
	OS 終了モード	「シャットダウン」で終了する	
	仮想サーバ終了モード	「OS」が終了する	
	ゲストOS終了モード	「シャットダウン」で終了する	
	UPS自動停止	3 2	
	その他のデバイス		
	出力コンセントA(制御なし)	180 • 秒	
	出力コンセントB (制御あり)	0 <u> </u>	
	出力コンセントC (制御あり)	0 _ 秒	
	入力電源異常時の最大バックアップ時間		
	入力電源異常時の最大バックアップ時間	0 分	
	ОК	キャンセル	_

■基本設定(必ず使う設定)

項目	設定内容					
待機時間	本ソフトウェアが入力電源異常を検出してから、シャットダウン動					
	作を開始するまでの時間を設定します。					
	初期值:60秒					
	☞待機時間内に復電(電源の復旧)を検出した場合、シャットダウン					
	動作は開始しません。					
	☞0 秒に設定した場合は入力電源異常を検出後、即シャットダウンが始					
	まります。ある程度余裕をもった時間を設定してください。					
シャットダウンに必要な時	OS がシャットダウンを開始した時点から、UPS が自動停止するま					
間	での時間を設定します。					
	初期值:180 秒					
	※OS のシャットダウン途中で UPS が出力停止しないように、ある程					
	度余裕をもった時間を設定してください。					
OS 終了モード	OS の終了モードを設定します。					
	「シャットダウン」で終了する					
	「休止状態」で終了する					
UPS 自動停止	シャットダウン時に UPS を停止する設定です。					
	初期値:する					
	☞する UPSは「シャットダウンに必要な時間」 経過後、出力停					
	止します。					
	☞しない UPS はバッテリが尽きるまでバックアップ運転を継続					
	します。					

■応用設定(環境により使う設定)

項目	設定内容
シャットダウン開始遅	UPS に複数台のコンピュータを接続している環境で、他のコンピュータ
延	よりシャットダウンの開始を遅くする場合に設定します。
	設定範囲:0~600 秒(60 秒単位で設定できます)
	初期値:0 秒(遅延なし)
外部コマンドライン	シャットダウン時に実行するプログラムのコマンドを入力します。
	プログラムの実行時間は下段の「外部コマンド実行時間」で設定します。
	※「実行するプログラム」とはデータを保存するプログラムなどを指し
	ます。
外部コマンド実行時間	「外部コマンドライン」で設定したプログラムの実行に必要な時間を設
	定します。実行中は OS のシャットダウン動作を一時停止します。
	設定範囲:0~600 秒(60 秒単位で設定できます)
	初期值:0秒
	※Hyper-V 機能使用時に仮想サーバを本ソフトウェアで終了する場合、
	ゲスト OS(仮想サーバの OS)のシャットダウンに必要な時間を設定
	してください。
仮想サーバ終了モード	ゲスト OS の終了処理を OS 側で行うか、本ソフトウェアで行うか、設
(ゲスト OS の終了管	定します。
理)	「OS」が終了する:
	ゲスト OS を OS 側の管理で終了させるモードです。
	※[ゲスト OS 終了モード]は無効になります。 ゲスト OS のシャットダ
	ウン時の動作は「Hyper-V マネージャ」で設定してください。
	「PowerAct Pro」が終了する:
	ゲスト OS を本ソフトウェアで終了させるモードです。
	追加で以下の設定が必要です。
	1 「外部コマンド実行時間」でゲスト OS の終了に必要な時間を設定し
	ます。選択範囲は 60 秒~600 秒(60 秒単位)です。
	2 「ゲスト OS 終了モード」で、ゲスト OS の終了方法を[シャットダ
	ウン]、[休止状態] から選択します。
	※「ゲスト OS 終了モード」はシャットダウンパラメータ起動時にゲスト
	OS が稼働状態にないと、選択できません。
ゲスト OS 終了モード	ゲスト OS の終了方法を [「シャットダウン」 で終了する]、 [「休止状態」
	で終了する]から選択します。

参考

設定を変更したら、必ず [OK] ボタンをクリックしてください。

5-3 シャットダウンテスト

UPS を停電状態にしてサーバのシャットダウンテストを実施します。

参考				
シャットダウンテストでは以下2つの動作を確認してください。				
①サーバがシャットダウンすること				
②サーバのシャットダウン完了後に UPS の出力が停止すること(UPS が OFF になること)				
動作イメージは P.90「付-1-1 初期設定値の動作シーケンス」を参照してください。				

1 タスクトレイの常駐アイコンが 「商用運転中」になっていることを確認する

アイコン	状態	備考
4	商用運転中	UPS と本ソフトウェアは通信中です。
CA.		入力電源に異常はありません。
æ	通信エラー	UPS と本ソフトウェアの通信ができていません。
₽		この状態では停電が発生してもシャットダウンできません。
		通信ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
		P.68「7-2 UPS と通信できない」を参照してください。
	入力電源異常	入力電源の異常で UPS はバックアップ運転(バッテリ出力)中
		です。
		原因として停電、電圧または周波数の変動などが考えられます。

2 UPS の AC 入力プラグをコンセントから抜いて、停電状態にする

参考 本ソフトウェアが停電を検出すると常駐アイコンが「入力電源異常」に変わります。

3 常駐アイコンが「入力電源異常」に変ったら「待機時間」経過後(初期値 60 秒)に OS のシャットダウンが 始まることを確認する

初期設定
・待機時間:60秒
・シャットダウンに必要な時間:180 秒
・UPS 自動停止 : する

4 OS のシャットダウン開始から「シャットダウンに必要な時間」経過後(初期値 180 秒)、UPS の出力が停止することを確認する

注意

シャットダウンパラメータで「UPS 自動停止・しない」を選択した場合は、バッテリ残量が無くなるまで UPS の出力は停止しません。

参考

UPS が停止する(UPS が OFF になる)と、UPS 本体の「状態表示」や LCD が消灯します。

5 UPSのAC入力プラグをコンセントに挿し、復電させる

参考

復電すると UPS が自動再起動(UPS が ON)します(工場出荷値)。

UPS 側で自動再起動「しない」設定にしている場合は、復電しても自動再起動しません。

注意

手動でコンピュータの電源を入れる場合は、UPS が停止する前にコンピュータを起動させないよう注意してください。

☞P.922「付-1-3 UPS の出力停止前に復電した場合の注意点」

以上でシャットダウンテストは終了です。

6 アンインストール(削除)方法

6-1 本ソフトウェアのアンインストール

1 [コントロールパネル] \rightarrow 「プログラムと機能」の「PowerAct Pro(Master Agent)」をダブルクリックする

	プログラムと機能	:
ال ال 😓 🔄 🔹 🔄	▶ プログラムと機能 ∨ ℃ プログラムと機能の検索	
コントロール パネル ホーム	プログラムのアンインストールまたは変更	
インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アン インストール]、[変更]、または [修復] をクリックします。	
Windows の機能の有効化または 無効化	整理 ▼ アンインストール 変更 📰 ▼ @)
	名前 •	^
	■ Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable - x86 9.0.30729 Microsoft Visual C++ 2015 Redistributable (x86) - 14.0.230	
<	PowerAct Pro(Master Agent)	
	< III >	
	OMRON 製品バージョン: 5.15 サイズ: 80.2 MB	

参考

本ソフトウェアはインストーラーを使って削除することもできます。

インストーラーで削除する場合は、インストールした本ソフトウェアと同じバージョンの setup.exe を起動し、画面の指示に従って削除してください。

2 [はい(Y)] ボタンをクリックする



3 [完了] ボタンをクリックする

PowerAct Pro(Master Agent) - InstallShield Wizard				
	アンインストール完了 InstallShield Wizard (は PowerAct Pro(Master Agent) のアンインストー ルを完了しました。			
	< 戻る(B) 完了 キャンセル			

- 4 Windows Server 2012 R2 を再起動する
- 以上で本ソフトウェアのアンインストールは終了です。

7 こんなときには

7-1 「HTTP ポートをチェック」の警告が出たら

本ソフトウェアのインストール途中に「HTTP ポートをチェック」の警告画面が表示されることがあります。

この場合、本ソフトウェアで使用する HTTP ポートを別のプログラムで使用している状態です。

別のプログラムの HTTP ポート番号と重複しないように IIS のポート番号を変更してください。

7-1-1 本ソフトウェアのインストール途中でポート番号を変更する

1 [OK] ボタンをクリックする

警告
HTTPポートをチェックしてください。 PowerAct Proが使用するHTTPポートは、すでに使用されています。または間 違っています。
ОК

2 [通信設定] タブの「HTTP ポート」を変更し [OK] ボタンをクリックする

শ ইন্স	トダウンパラメータ
シャットダウンパラメータ UPS起動/再起動 ji	通信設定
~ネットワークポートアドレス	
нттр#-ト	8080
HTTPSポート	0
SMTPポート	25
SNMPポート	161
Syslogポート	514
	□ リモートアクセス禁止
	* IPアドレスlocalhostを使用して、マスターエージェントへ アクセスして ください。
	* 設定を有効にするために、Apache HTTP Serverを 再起動します。
SNMP	無効
ブロードキャスト	有効
ОК) <u>++>セル</u>

参考

HTTP ポート番号の初期値:80

本例では HTTP ポートを 80 から 8080 に変更しています。

注意

「SSL による暗号化通信を使用する」を選択した場合は、HTTPS ポート番号を変更してください。

HTTPS ポート番号の初期値:443

7-1-2 インストール完了後に HTTP ポート番号を変更する

1 タスクトレイの常駐アイコンを右クリックし [エージェント停止] を選択する



2 常駐アイコンに×が付くことを確認する



3 [Program Files (x86)] フォルダ→ [PowerAct Pro(Master Agent)] フォルダの [ConfigShutdownParameter.exe] をダブルクリックする



4 [通信設定]の「HTTP ポート」を変更し、[OK] ボタンをクリックする

Ϋ́.	シヤツ	トダウンパラメータ
ĺ	シャットダウンパラメータ UPS起動/再起動 通	信設定
	ネットワークポートアドレス	
	нттр#-ト	8080
	HTTPSポート	0
	SMTPポート	25
	SNMPポート	161
	Syslogポート	514
		□ リモートアクセス禁止
		* IPアドレスlocalhostを使用して、マスターエージェントへ アクセスして ください。
		* 設定を有効にするために、Apache HTTP Serverを 再起動します。
	SNMP	無効 ▼
	ブロードキャスト	有効 ▼
	ОК) キャンセル
_		

参考

本例では80を8080に変更しています。

HTTP ポート番号の初期値:80

注意

「SSLによる暗号化通信を使用する」を選択した場合は、HTTPSポート番号を変更してください。

HTTPS ポート番号の初期値:443

5 常駐アイコンを右クリックし [エージェント起動] を選択する

C	I-ジェント起動	
	I-ŷ°I〉M导止	
	アクセス権設定	
	シャットダワン再開	
	シャットダッウン一時停止	

6 常駐アイコンの×が消えることを確認する



7 デスクトップの [PowerAct Pro モニタ] を右クリックし [プロパティ] を選択する



8 [セキュリティ] タブをクリックする

*	PowerAct Proモニタのプロパティ
全般 Web ド:	キュメンドセキュリティ 詳細
Powe	rAct Proモニタ
URL(<u>U</u>):	http://127.0.0.1/PowerAct_Pro/
ショートカット キー(K):	なし
表示回数:	不明
	アイコンの変更(C)
	OK キャンセル 適用(A)
	OK キャンセル 適用(A)

9 [編集(E)] ボタンをクリックする

*	Pov	verAct Pro	モニタのフ	ロパティ	r -		×
全般	Web ドキュメン	ト セキュリティ	詳細				
オブジ: グルー: & & & & & & & & & & & & & & & & & & &	ェクト名: C:¥ ブ名またはユーザ・ SYSTEM NTERACTIVE	EUSers¥Public 一名(<u>G</u>):	¥Desktop)¥Powe	rAct Pr	でモニタ.ur	-
アクセンをクリッ	ス許可を変更する ゆ:	には [編集]		\langle	⑧編\$	<u> 集(E</u>))
アクセン	ス許可(<u>P</u>): SYS	TEM		許可		拒否	
フル	, ה-חלכב			\checkmark			
変要	Ē			\checkmark			
読み	み取りと実行			\checkmark			
読み	り取り			\checkmark			
書き	き込み			\checkmark			
特列	味なアクセス許可						
 特殊な は、[ii	\$アクセス許可また \$細設定] をクリッ	は詳細設定を表 クします。	気するに		詳細談	埞(⊻)]
		ОК	\$	ャンセル		適用(<u>A</u>)	

10 「グループ名またはユーザー名(G):」欄でログイン中のユーザ名をクリック、「アクセス許可(P):」欄の「フ ルコントロール」にチェックし、[適用(A)] ボタンをクリックする

🐌 Pow	verAct Pro₹Ξ	タのアクセス許可	ŋ ×
セキュリティ オブジェクト名: C グループ名またはユーち	:¥Users¥Public¥ f-名(<u>G</u>):	Desktop¥Power#	Act Proモニタ.url
& SYSTEM		>	
		追加(<u>D</u>)	削除(<u>R</u>)
アクセス許可(<u>P</u>):		許可	拒否
フル コントロール 変更 読み取りと実行 読み取り 書き込み		Y Y Y Y Y	
	ОК	++>ZIL	適用(<u>A</u>)

11 [Web ドキュメント] タブの「URL(U):」欄でポート番号を修正し [OK] ボタンをクリックする

*	PowerAct Proモニタのプロパティ
全般 Web ド	キュメント セキュリティ 詳細
Powe	erAct Proモニタ
URL(<u>U</u>):	http://127.0.0.1 <u>:8080/</u> PowerAct_Pro/
ショートカット キー(<u>K</u>):	なし
表示回数:	不明
	アイコンの変更(C)
	OK キャンセル 適用(A)

参考

ポート番号は、手順4(P.64)で変更したものに修正してください。

例) ポート番号を 80 から 8080 に変更した場合

http://127.0.0.1:80/PowerAct_Pro/ ↓

http://127.0.0.1:8080/PowerAct_Pro/

7-2 UPS と通信できない

本ソフトウェアは USB ポートまたは RS232C ポート (COM ポート) 経由で UPS の状態をモニタします。 以下のチャートを参考に、本ソフトウェアと UPS の通信を確立してください。



7-2-1 USB 接続の場合

- 1 サーバから USB ケーブルを取り外す
- 2 USB ケーブルを再接続して、30 秒程度(UPS が再検出される時間)待つ



7-2-2 Web サーバ使用環境

1 デスクトップの [PowerAct Pro モニタ] をダブルクリックする



2 [はい(Y)] ボタンをクリックする



3 本ソフトウェアをインストールしたサーバ名をクリックする

● 手動エージェント検索: ● 設定						
システム	ログ	UPS 設定	手動操作	ヘルプ		
🗙 環境設定	マスター/スレーブ グルー	-プ構成 UPS型式 U	PS状態 バッテリ状態	通信ポート(通信状態)		
② スケジュール〇〇 イベント情報	C OMRON-WIN81	>		^		

4 「ログイン ID」に「Admin」、「パスワード」にインストール時に設定したパスワードを入力し [設定] ボタンをクリックする

OMRON	
ログインID: Admin パスワード: ••••••• •	
	夏定 キャンセル
注音	

大文字/小文字は区別されます。

5 [環境設定]をクリックする

● ●				
システム	ログ	UPS 設定	手動操作	ヘルプ
日時: 2015年03月17日 18:2 前回のバッテリ使用開始日(交換	8:43 次回のバッ 日): 2015年03月17日	テリ交換: 2016-03-17 3		
 、環境設定 	UPS型式: UPS状態: 出力コンセントA 出力コンセントB	(制御なし): (制御なり):	ブザー: ファンクションテストステータン バッテリ自動テスト: UPSコールドスタート犠発: 出力率Fr / 入力感音:	ならさない ならさない する しない 100V/練業病律

6 [通信設定] をクリックする

OMRON		
> シャットダウンパラメータ	> UPS起動/再起動 > ログオブション → 通信設定	デフォルト
>> シャットダウン パラメータ	エージェント選択 OMRON-WIN81(マスター) V 執定	
 E エージェント選択 E 冗長電源設定 	UPS出カコンセント選択 出力コンセントA (制御なし) >	

7 [自動選択] ボタンをクリックする

OMRON					
> シャットダウンパラメータ	>UPS起動/再起動	▶ ログオプション	> 通信設定		
					デフォルト
≫ 通信設定	通信ボート				
D 通信設定	No.	通信ボート	UPS型式	修正	
▶ Mail 設定					\sim
● SNMP V1 設定				ポート追加	自動選択
▣ SNMP V3 設定	ネットワークボート	設定			

omron	
> シャットダウンパラメータ	> UPS起動/再起動 > ログオプション > 通信設定
	デフォルト
≫ 通信設定	通信术一上
D 通信設定	No. 通信ポート UPS型式 修正 削除 1 USB 1 BN100S Q Q
▶ Mail 設定	\checkmark
▶ SNMP V1 設定	ポート追加 自動選択
N SNMP \/3 語定	

8 「通信設定」、「PowerAct Pro モニタ」画面を閉じる
7-2-3 Web サーバ不使用環境

■通信ポートを「自動」で設定する

1 [Program Files (x86)] フォルダ→ [PowerAct Pro(Master Agent)] フォルダの [PowerActProConsole.exe] をダブルクリックする



2 「2」を入力し「Enter」キーを押す



3 「3」を入力し「Enter」キーを押す
 「IP address of PowerAct Pro master agent:」欄に「127.0.0.1」を入力し「Enter」キーを押す

m Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProCon – 🗖	×
ch Window Menu]	+ ^
etSearch Information r PowerAct Pro Master Agent owerAct Pro Console	
mber -> 2	
D and Password Menu]	+
by ID of Master Agent by Host Name of Master Agent <u>by IP Address of Master Agent</u>	
mber -> 3	
s of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1	
	~
	<pre>n Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProCon ch Window Menu] etSearch Information r PowerAct Pro Master Agent owerAct Pro Console nber -> 2 D and Password Menu] by ID of Master Agent by Host Name of Master Agent by IP Address of Master Agent nber -> 3 s of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1</pre>

- 4 「1. Login ID:」欄に「Admin」を入力し「Enter」キーを押す
 - 「2. Password:」欄に本ソフトウェアのインストール時に設定したパスワードを入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProCon	 ×
+ [Input ID and Password Menu]	 + ^
1. Select by ID of Master Agent 2. Select by Host Name of Master Agent 3. Select by IP Address of Master Agent 0. Return	 +
Select Number -> 3	
IP address of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1	
+ [User Login Window]	 +
1. Login ID:Admin 2. Password:*****	+
	¥

5 キーボードの「Q」キーを押す

C:¥Program Files (x86))¥PowerAct Pro(1	Master Agent)¥PowerActPro	Con 🗆 🗙
======================================	PowerAct Pro Co MRON-WIN81/ Ful 5-06-22 17:13:23 3-06-19	nsole Monitor]======= Access)] [Next Battery Replace Da	te]: 2016-06-19
UPS Model: UPS Status: Output A: Output B: Output C: Battery Status: Additional Battery Unit:	LUPS Set BN100S On Line Output Start NoSupport NoSupport Normal O	TINEJ Buzzer Status: Function Test Status: Battery Auto Test: UPS cold start status: Input Sensitivity: UPS Auto Reboot: Presumed Backup Time:	On On Off Off 100V/Standard On 466
Input Voltage: Output Voltage: Load Level: Communication Port: [Nex Next Shutdown Start: 2015-06-22 17:01:15 [Bat 2015-06-22 17:00:34 [Bat	101.3V 102.0V 0% USB1 ct Shutdown Star [Last Tw tery change dat tery change dat	ata]	50.0Hz 50.0Hz 100%
Key "R" To Refresh UPS [Key "Q" To Quit The Mon)ata, Key ″A″ To tor, Key ″C″ To	AutoLoad UPS Data / 10 S Change The Current UPS M	econds onitor

6 「1」を入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro	(Master Agent)¥PowerActProCon	-	×
+ PowerAct Pro Monitor (OMRON-WIN81)	Main Menu		 -+ ^
1. System Configuration 2. UPS Setting 3. Manual Operation 4. PowerAct Pro Monitor 5. Events Log	N/A N/A		 -+
7. CO2 Log 7. CO2 Log 8. Close Application Information 9. Help 0. Return To NetSearch Select Number -> 1	N/A		

7 「1」を入力し「Enter」キーを押す



8 「4」を入力し「Enter」キーを押す



9 「1」を入力し「Enter」キーを押す



10「11」を入力し「Enter」キーを押す



11「1」を入力し「Enter」キーを押す



JPS Model」に接続している UPS の型式が	表示されれば、UPS と通信が確立した状態です。
列では USB ポートに BN100S を検出してい	ます。
C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master	r Agent)¥PowerActProCon
[Communication Basal Setting of OMRON-WI	N81(Master Agent)]
11. Find UPS 1. Auto 2. Manual 3. COM List 0. Return Select Number : 1	
Updating the setting values. Please wait.	
[Communication Port List of OMRON-WIN81(Master Agent)]
No. Communication Port UPS Mo 1 USB1 BN100S	del
Press Enter Key To Continue	
	×
「Communication Port List」に UPS が白動	倫出されスまで時間がかかスことがあります

- **12**「Enter」キーを押し手順 11 の画面に戻る
- **13**「0」を入力後「Enter」キーを押し一つ前の画面に戻る 以後同様の操作で「PowerActProConsole」を閉じる

■通信ポートを「手動」で設定する

1 [Program Files (x86)] フォルダ→ [PowerAct Pro(Master Agent)] フォルダの [PowerActProConsole.exe] をダブルクリックする



2 「2」を入力して、「Enter」キーを押す



3 「3」を入力し「Enter」キーを押す
 「IP address of PowerAct Pro master agent:」欄に「127.0.0.1」を入力し「Enter」キーを押す



- 4 「1. Login ID:」欄に「Admin」を入力し「Enter」キーを押す
 - 「2. Password:」欄に本ソフトウェアインストール時に設定したパスワードを入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProCon	<
+	• ^
1. Select by ID of Master Agent 2. Select by Host Name of Master Agent 3. Select by IP Address of Master Agent 0. Return	l
Select Number -> 3	
IP address of PowerAct Pro master agent:127.0.0.1	
[User Login Window]	-
1. Login ID:Admin 2. Password:*****	-
	¥

5 キーボードの「Q」キーを押す

C:¥Program Files (x86)	¥PowerAct Pro(N	laster Agent)¥PowerActPro	Con 🗆 🗙
Energy Constant (C [PowerAct Pro Monitor (C [Date And Time]: 2015 [Battery Use Date]: 2013	PowerAct Pro Co MRON-WIN81/ Ful -06-22 17:13:23 -06-19	nsole Monitor]======== Access)] [Next Battery Replace Da	te]: 2016-06-19
UPS Model: UPS Status: Output A: Output B: Output C: Battery Status: Additional Battery Unit:	BNIOOS On Line Output Start NoSupport NoSupport Normal O	TINGJ Buzzer Status: Function Test Status: Battery Auto Test: UPS cold start status: Input Sensitivity: UPS Auto Reboot: Presumed Backup Time:	On On Off Off 100V/Standard On 466
Input Voltage: Output Voltage: Load Level: Communication Port: [Nex Next Shutdewn Start:	101.3V 102.0V 0% USB1 (t Shutdown Star	ala] Input Frequency: Output Frequency: Battery Capacity: Test Result: t / Next UPS Restart] Next UPS Restart:	50.0Hz 50.0Hz 100%
2015-06-22 17:01:15 [Bat 2015-06-22 17:00:34 [Bat ====================================	[Last Tw tery change dat tery change dat 	o Events] e] is updated [OMRON-WIN8 e] is updated [OMRON-WIN8 =	1 (Master) 20 1 (Master) 20 econds lonitor

6 「1」を入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct	Pro(Master Agent)¥PowerActProCon – 🗆 🗙
+ PowerAct Pro Monitor (OMRON-WIN8 +	1) Main Menu
1. System Configuration 2. UPS Setting 3. Manual Operation 4. PowerAct Pro Monitor 5. Events Log	N/A N/A
o. Data Log 7. CO2 Log 8. Close Application Informatior 9. Help 0. Return To NetSearch	N/A
Select Number -> 1	

7 「1」を入力し「Enter」キーを押す

+-	["System" menu of PowerAct Pro Monitor(OMRON-WIN81)]	+
-	1. Configuration 2. Event 3. Schedule 0. Return	
	Select Number -> 1	~

8 「4」を入力し「Enter」キーを押す



9 「1」を入力し「Enter」キーを押す



10「11」を入力し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct I	Pro(Master Agent)¥PowerActProCon – 🗖 📕	×
 Remote Access: HTTP Port: HTTPS Port: SMTP Port: SNMP Port: SysLog Port: SysLog Port: SNMP Access: Broadcast Access: Page Refresh Rate(Sec): Leoff Time(Win): 	Enable 8080 N/A 25 161 514 Enable Enable 30	^
11. Communication Port Setting 0. Return Select Number -> 11	JU XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	*

11「2」を入力し「Enter」キーを押す



12「2」を入力し「Enter」キーを押す

🖳 C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProCon 🗖 🗆 🌄	
+ [Communication Basal Setting of OMRON-WIN81(Master Agent)] +	^
11. Find UPS 1. Auto 2. Manual 3. COM List	
0. Return Select Number : 2	
[Communication Basal Setting of OMRON-WIN81(Master Agent)]	
1. COM List <u>2. Add</u> 3. Modify 4. Remove 0. Return	
Select Number -> 2	
	~

13 UPS を接続している COM ポートを選択し「Enter」キーを押す

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProCon
+ [Communication Basal Setting of OMRON-WIN81(Master Agent)]
1. COM List 2. Add 3. Modify 4. Remove 0. Return
Select Number -> 2
[Communication Port Add Window of OMRON-WIN81(Master Agent)]
1.COM1
0. Return 1. Select The Communication Port Number: 1
Updating the setting values. Please wait.
~

参考

「2.Add」を選択すると、コンピュータのシリアルポートがリスト表示されます。

本例ではシリアルポートが COM1 のみの為、「1」の COM1 を選択しています。

14「1」を入力し「Enter」キーを押す



参考

「1.COM List」では UPS との通信状況が確認できます。

UPS を接続してある COM ポートと UPS の型式が表示されます。

C:¥Program Files (x86)¥PowerAct Pro(Master Agent)¥PowerActProCon
[Communication Basal Setting of OMRON-WIN81(Master Agent)]
1. COM List 2. Add 3. Modify 4. Remove 0. Return
Select Number -> 1
[Communication Port List of OMRON-WIN81(Master Agent)]
No. Communication Port UPS Model 1 COM1 BN100S
Press Enter Key To Continue
King Contraction Contraction Contraction Contraction King Contraction Contraction King Contrecity
本例では COM1 に BN100S を検出しています。

15 「Enter」キーを押し手順 11 の画面に戻る

16「0」を入力し「Enter」キーを押し一つ前の画面に戻る 以後同様の操作で「PowerActProConsole」を閉じる

7-2-4 「通信ポートの設定」で「手動」を選択する場合

本ソフトウェアのインストール時に通信ポートを「手動」設定する手順です。 (☞P.エラー! ブックマークが定義されていません。手順 18、P.28 手順 12、P.45 手順 11)

1 「手動」を選択して、[OK] ボタンをクリックする

通信ポートの設定
通信ポートの設定方法を選択してください。 通信ポート <u>単切</u>

2 UPS を接続している COM ポートを選択し [追加(A)] ボタンをクリックする

通信和	ポートの設定
UPSと通信するボートを固定した 加」ボタンをクリックして設定してく ら、「OK」ボタンをクリックしてくださ	い場合は、通信ポートを選択して「追 ださい。通信ポートの設定が完了した 50、
【注意】 通信ポートを選択でき	きるのは、COMボートのみです。
通信ポート	COM1 👻
ок	id to (A) مراط

3 [OK] ボタンをクリックする



4 [OK] ボタンをクリックする

通信ポートの設定
UPSと通信するボートを固定したい場合は、通信ボートを選択して「追加」ポタンをクリックして設定してください。通信ボートの設定が完了したら、「OK」ポタンをクリックしてください。
【注意】 通信ボートを選択できるのは、COMボートのみです。
通信ポート COM1 _▼

5 選択した COM ポートの通信結果を確認し [OK] ボタンをクリックする

通信ポートテスト結果					
No. 1	通信ポート COM1	UPS形式 BN75T			

6 本ソフトウェアのインストール手順に戻ります。

IIS を使用する場合	P.28 手順 14 参照
Web サーバを使用しない場合	P.46 手順 13 参照

7-3 復電時にサーバを自動起動させる

7-3-1 UPS とサーバの自動起動設定

入力電源異常で UPS がシャットダウンした後、復電時にサーバを自動起動させる場合は、UPS の設定とサーバの BIOS の設定をしてください。

1 復電時に UPS を自動起動する設定(工場出荷時設定)にする



- 2 コンピュータの BIOS 設定を「復電時に自動起動する」設定にする
 - NEC (Express5800)

 $[\mathsf{Boot}] \to [\mathsf{After} \ \mathsf{Power} \ \mathsf{Failure}] \to [\mathsf{Power} \ \mathsf{On}]$

Main Advanced Secur	BIOS SETUP UTILITY ity Boot System Manag	, gement Exit
Quick Boot	[Enabled]	Allows BIOS to skip certain tests while
After Power Failure Un Modem Ring On LAN On PME	[Last state] [Stay U++] [Power On] [Stay Off]	decrease the time needed to boot the system.
Primary macton IDE	Fict IDE1	

HP (ProLiant DL145)

 $[Power] \rightarrow [After Power Failure] \rightarrow [Power On]$

Main Advan	ced	Phoen ixBIUS Security	Setup Power	Utility Boot	Exit
Offer Dever Fa	i lure:	Ilast Stat			Iten S
PCI PME Power	UP	[Enabled]	•		Sets the

HP (ProLiant DL DL360G6)

[サーバアベイラビリティ] → [自動パワーオン] → [有効]



・富士通(PRIMERGY RX100 S5)

 $[Power] \rightarrow [Power Failure Recovery] \rightarrow [Always On]$



・日立(HA8000)

BIOS セットアップメニューで「AC 入力でシステム装置を起動させる」に設定する



7-3-2 UPS 停止前に復電した場合にコンピュータが自動起動しない

OS がシャットダウンを開始した後、UPS が出力停止する前に復電した場合、UPS は出力停止した直後に自動 起動するため、コンピュータへの<u>給電を停止している時間</u>が短くなります。 この<u>給電停止時間が短い</u>ことが原因でコンピュータが起動しない可能性がありますので、「UPS 起動遅延時間」 で給電停止時間を延ばして、コンピュータが自動起動するか確認してください。

参考

コンピュータは入力電源の停止時間が短いと、内部に蓄積された電力が抜けきらず入力電源が OFF になったことを 検出できないことがあります。

コンピュータ内部に蓄積された電力が完全に抜けきる時間はコンピュータ毎に異なりますので、使用している機種に 合わせて「UPS 起動遅延時間」を調節してください。

■Web サーバ使用環境

- 1 デスクトップの [PowerAct Pro モニタ] にログインし、[環境設定] → [UPS 起動/再起動]を開く
- 2 「UPS 起動遅延時間」を長くして、[設定] ボタンで更新する

			デフォリ
>> UPS起動/再起動	UPS再起触诊定		
10CTD4400	upc Ris Water	**	
OF OPPRESENCE	UPS BEREAR		51
Pine型視試定	OF SIGNATION OF THE SECOND	5 4	8
	八979日	0% •	
	UPS記錄時の出力開始遅延時間		
	出力開始運経コマンド送信	78 V	
	出力コンセントA (制動なし)	~	8
	出力コンセントB (制御あり)	~	Ð
	出力コンセントC (制創あり)	~	8
	UPSコールドスタート		
	UPSコールドスタート機能	しない マ	

3 「UPS 起動/再起動」画面を [キャンセル] ボタンで閉じる

4 [システム] → [ログオフ] で [PowerAct Pro モニタ] を閉じる

Power Act Pro M	onitor WIN-LNA4	MQGBDCD	(フルアクセス) - Int	ernet Explorer	- D X
http://127.0.0.1/cgi-bin/information/firstpage.exe					
OMRON		手動エージュ	:ント検索: 🜉 📃		検索
システム ログ	UPS 設定		手動操作	ヘルプ	
エージェント自動原葉 環境設定 イベント情報 スケジューリ 2016年02月08日	咬換: 2017-02-08				
ログオフ UPS型式:	BN150R	ブザ・	-:	ならす	
UPS状態: 出力コンセントA(制 出力コンセントB(制	腐用運転中 卸なし): 出力中 卸あり): 出力中	ファ: パッ: UPS: 出力i	ンクションテストステー テリ自動テスト: コールドスタート機能: 毛圧/入力感度:	タス: する する しない 100V/標準感過	ę
は ポント情報 パッテリ状態:	脚あり): 出力中 正常	UPS 通信	自動再起動: ポート: USB 1 V	する	-
増設パッテリ:		テス	.ト結果:	DK AC	
	40 60	80	100 120	140	
データログ 入力電圧:				101.3	V
	40 60	80	100 120	140	
				101.4	v
入力周波数:	40 45	50	55 60	49.9	Hz
A エージェント 検索	40 45	50	55 60	65	
出力周波数:	10 15			49.9	Hz
2 AND	0 25	50	75 100	125	
接続容量:				0	%
	0 25	50	75 100	125	
バッテリ容量:				90	%

■Web サーバ不使用環境

1 タスクトレイの PowerAct Pro 常駐アイコンを右クリックし [エージェント停止] を選択する



2 常駐アイコンに×が付くことを確認する



3 デスクトップの [シャットダウンパラメータ設定」をダブルクリックする



4 [UPS 起動/再起動] タブの「UPS 起動遅延時間」を延ばし [OK] ボタンをクリックする

Ň	シャットダウンパラメータ	×
	シャットダウンパラメータ UPS起動/再起動 通信設定	
		1
	UPS起動時の出力開始遅延時間	
	出力開始遅延コマンド送信 有効	
	出カコンセントA (制御なし) 0 🗾 秒	
	出力コンセントB(制御あり) 0 v か	
	出カコンセントC(制御あり) 0 ジ	
	_UPS再起動設定	
	UPS自動再起動 有効 _	
	UPS起動遅延時間	
	バッテリ容量オーバ 0%	
	 _ UPSコールドスタート	
	UPS⊐-ルドスタート機能 無効 ▼	
	ок * #>½%	

5 常駐アイコンを右クリックし [エージェント起動] を選択する



6 常駐アイコンの×が消えることを確認する



付録

付 録

付-1 シャットダウン動作シーケンス

付-1-1 初期設定値の動作シーケンス



本ソフトウェアが入力電源異常を検出してから約 60 秒後に OS のシャットダウンが開始されます。

OS のシャットダウン開始から約 180 秒後に UPS が出力停止します。



初期値では本ソフトウェアが入力電源異常を検出してから UPS が出力停止するまで約 240 秒かかります。

付-1-2 応用設定した場合の動作シーケンス



「シャットダウン開始遅延」と「外部コマンド実行時間」の設定がそれぞれ「60秒」の場合、入力電源異常の 検出から約 180 秒後に OS のシャットダウンが開始されます。

OS のシャットダウン開始から約 180 秒後に UPS が出力停止します。



参考

本設定では本ソフトウェアが入力電源異常を検出してから UPS が出力停止するまで約 360 秒かかります。 「シャットダウン開始遅延時間」、「外部コマンド実行時間」、「シャットダウンに必要な時間」の合計は、出力コンセン ト制御機能のある UPS で最大 1800 秒、出力コンセント制御機能のない UPS で最大 600 秒です。 出力コンセント制御機能のある UPS は以下の通りです。

- BU3002R
- BU1002SW/BU3002SW
- · BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW
- BU150R
- BN100T/BN150T/BN220T/BN300T
- BN75R/BN150R/BN300R
- BV55REM/BV55RE

付-1-3 UPS の出力停止前に復電した場合の注意点

UPS が「自動停止する」設定では、OS のシャットダウンが開始されると、UPS は必ず出力停止します。

UPS の出力停止前にコンピュータの電源を入れると、OS の起動途中または起動後に UPS が出力停止する為、 故障の原因となる恐れがあります。

コンピュータを手動で起動する前に、必ず、UPSが出力停止した後であることを確認してください。



参考

UPS が自動停止する前にコンピュータを起動したい場合は、一旦 UPS を再起動(電源スイッチ操作で OFF / ON する)し、出力停止タイマーをリセットしてください。

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS Co., Ltd. 2018 K1L-D-16011C